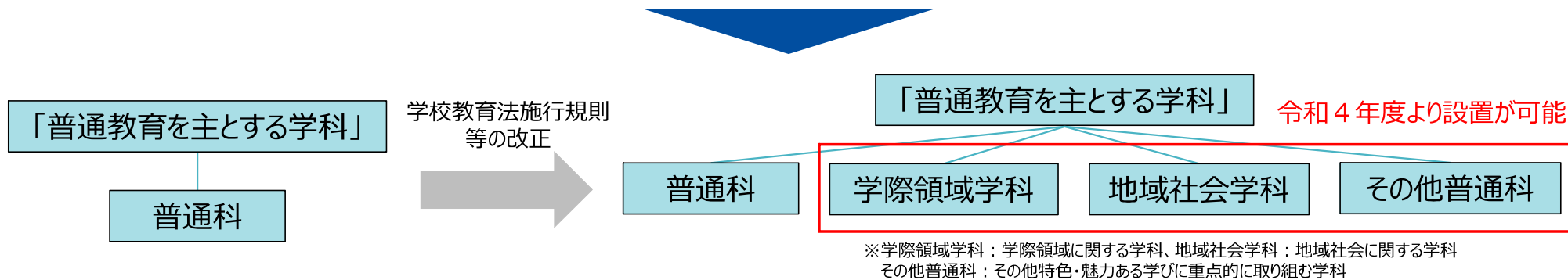


普通科改革の全国の事例について
（文部科学省HPから抜粋）

令和5年9月4日
青森県教育委員会

「普通教育を主とする学科」の弾力化 – 普通科改革の意義・概要

- 普通科には高校生の約7割が在籍する一方で、**生徒の能力・適性や興味・関心等を踏まえた学びの実現に課題がある**との指摘もなされており、「普通」の名称から**一斉的・画一的な学びの印象を持たれやすい**ところ、普通科においても、生徒や地域の実情に応じた**特色・魅力ある教育を実現**する。
- 普通科において特色・魅力ある教育を行うにあたって、従来の文系・理系の類型分けを普遍的なものとして位置付けるのではなく、総合的な探究の時間を軸として、**生徒が社会の持続的発展に寄与するために必要な資質・能力を育成するための多様な分野の学びに接することができるようにする**。



学際領域学科

現代的な諸課題のうち、**SDGsの実現**や**Society5.0の到来に伴う諸課題**に対応するために、学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の**特色・魅力ある学び**に重点的に取り組む学科

地域社会学科

現代的な諸課題のうち、高等学校が立地する地元自治体を中心とする**地域社会が抱える諸課題**に対応し、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、現在及び将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した**実践的な特色・魅力ある学び**に重点的に取り組む学科

その他普通科

その他普通教育として求められる教育内容であって当該高等学校のスクール・ミッションに基づく**特色・魅力ある学び**に重点的に取り組む学科

「普通教育を主とする学科」の弾力化 – 新学科の要件

- (1) 各学科の特色等に応じた学校設定教科・科目を設け、2単位以上を全ての生徒に履修させること
- (2) 学際領域学科においては、大学等の連携協力体制を整備すること
- (3) 地域社会学科においては、地域の行政機関等との連携協力体制を整備すること
- (4) 学際領域学科及び地域社会学科においては、関係機関等との連携を行う職員の配置その他の措置を講じるよう努めること

新たな学科において考えられる学校設定科目の例

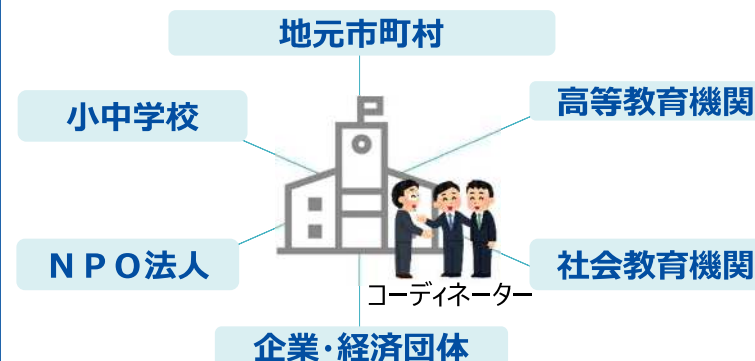
社会科学 研究	社会科学的な考え方をを用いて現在の経済活動を読み解き、現代社会の特質や課題について認識を深め、社会課題の解決策を提案
クリティカル シンキング	文脈の中で抽象語を理解し、複数の立場から論じられている文章の読解等を通して、多面的・総合的に考える能力や自分の考えを適切に表現する能力を育成
グローバル探 究	データに基づく論理的思考や調査手法等の研究手法を学ぶとともに、グローバルな社会課題についてSDGsの達成に向けた研究活動を実施
地域学	フィールドワーク等を通して、地域の現状・歴史を知り、地域の課題やニーズを把握。収集した情報を整理・活用し、課題を明確化し、行政・地域・福祉施設等との協議を通して、具体的な解決策を提案。こうした学習の課程においてコミュニケーション能力や交渉力を育成

連携協力体制

<学際領域学科の例>



<地域社会学科の例>



新たな学科で取り組む教育の特色（イメージ）

総合的な探究の時間

・各高等学校に期待される社会的役割等及び「三つの方針」を踏まえ、新たな学科において着目する社会的課題を踏まえた総合的な探究の時間の目標・内容を設定

・各学科において、目標を実現するにふさわしい探究課題を設定。「学際領域に関する学科」は複合的かつ分野横断的で、地域社会・国家・国際社会という枠組みも超えるようなボーダレスな課題に、「地域社会に関する学科」は地域社会の様々な課題と魅力に着目し、探究の過程を通して資質・能力を育成

・各教科・科目等や社会的課題に対応した学校設定教科・科目の特質に応じた「見方・考え方」を総合・統合しながら、「探究の見方・考え方」として働かせる

新たな学科の教育課題に対応した学校設定教科・科目

・「学際領域に関する学科」では、各高等学校に期待される社会的役割等と「三つの方針」に基づき着目する社会的課題に関連した新たな学問領域における最新の学術的知見等に関する系統的な知識及び技能等に基づき、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させて、当該社会的課題の分析や解決に資する統合的な学問分野に関する「見方・考え方」を鍛えていく最先端の学びを実現

・「地域社会に関する学科」では、各高等学校に期待される社会的役割等と「三つの方針」に基づき着目する地域社会の課題や魅力に関する知見を基にして、地域社会における課題や魅力の発見・課題解決に資する知識及び技能を身に付け、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を發揮させて、地域社会の持続的な発展や価値の創出に資する学問分野に関する「見方・考え方」を鍛えていく実践的な学びを実現

「三つの方針」に基づくカリキュラム・マネジメントを通じた教育活動の展開

各教科・科目での学び

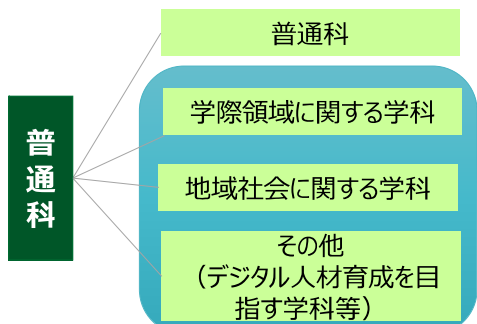
各高等学校に期待される社会的役割等及び「三つの方針」

令和3年1月の中央教育審議会答申において提言された普通教育を主とする学科の弾力化（普通科改革）や教科等横断的な学習の推進による資質・能力の育成を推進し、探究・STEAM教育、特色・魅力ある文理融合的な学び、今後の社会に求められるデジタル人材育成等を実現するため、令和4年度から設置が可能となった新しい普通科の設置を予定している学校の取組を推進するとともに、遠隔・オンライン教育等を活用した新たな教育方法を用いたカリキュラム開発等のモデル事業を実施する。加えて、新学科における学びや教科等横断的な学びを実現するためには、地域、大学、国際機関等との連携協力、調整が必要であり、その役割を担う「コーディネーター」について、その育成や活用を支援するための全国プラットフォームを構築する。

事業内容

① 普通科改革支援事業

令和4年度より設置が可能となった新しい普通科を設置する予定の高等学校等に対し、関係機関等との連携協力体制の整備や、コーディネーターの配置などの支援を行い、新学科設置の取組を推進することで、探究・STEAM教育や特色・魅力ある文理融合的な学びを実現する。



② 創造的教育方法実践プログラム

教科等横断的な学びの実現による資質・能力の育成、デジタル人材育成を目指し、遠隔・オンライン教育（質の高い通信教育を含む。）を活用した新たな方法による学びを実現する。(1) Society 5.0の実現に向けた最先端の技術を活用した学び、(2) 自らの興味関心に応じた探究的な学びに着目し、同一設置者の学校間のみでなく、他地域における大学や研究機関、国際機関等の関係機関からの同時双方向型の授業を取り入れたカリキュラム開発を行い、新しい時代の学びを創造する。



③ 高校コーディネーター 全国プラットフォーム構築事業 (PDCAサイクルの構築)

高校と地域、関係団体等をつなぐコーディネーターの全国的なプラットフォームを構築する。プラットフォームにおいては、コーディネーター人材やコーディネーターを受け入れる学校に対する研修を行うとともに、コーディネーター間の情報共有を促す場を創出することで、コーディネーターが持続的効果的に活躍できるようにするとともに、成果指標の検証による高等学校改革のPDCAサイクルの構築を図る。



対象
校種

国公立の高等学校

委託先

①②学校設置者 ③民間団体等

箇所数
単価
補助率

①35校（継続校分を含む）5,600千円／1校
②8校（継続校分を含む）6,000千円／1校
③1団体 20,000千円／1団体

委託
対象経費

①新学科の設置に必要な経費
②新たな教育方法を用いた学びに必要な経費
③プラットフォームの構築や成果検証に必要な経費

新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）令和4年度指定校一覧



文部科学省

No.	管理機関	指定校	設置学科 新学科設置(予定)年度	教育課程の特色
1	北海道教育委員会	釧路湖陵高等学校	学際領域学科 (令和6年度予定)	学際的な分野に関する学校設定科目と、「総合的な探究の時間」や各教科・科目を有機的に結び付けた探究的な学習を重視した教育活動の実施
2	北海道教育委員会	大樹高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	地域探究と台湾大樹区との国際交流を核とした「大樹学PLUS」、高大連携や企業連携による「大樹高STEAM」での地域社会の課題や魅力に着目した学び
3	岩手県教育委員会	大槌高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	地域社会を舞台に学ぶ実践的な問いからはじまる探究をはじめ、「学ぶことが楽しい」と思う魅力的な学びの環境を地域とともに創出
4	学校法人北上学園	専修大学北上高等学校	学際領域学科 地域社会学科 (令和6年度予定)	「未来を創る力」を育むために、自分の学びたいことを自立的に深め、学びたいことと地域・世界がつながり学ぶことの意味が見える「学び」の実現
5	学校法人信愛学園	浜松学芸高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	文理融合した教科横断的・系統的な地域での学びをカリキュラムとして構築し、ARTの視点を用いたプロジェクトに取り組み、地域への成果還元を行う
6	三重県教育委員会	上野高等学校	学際領域学科 (令和6年度予定)	SDGsに関する学習、プログラミングやSTEAMリテラシーの育成等、国内外を学びの場とした探究プログラムによる、文理が融合した新たな学び
7	京都市教育委員会	開建高等学校	地域社会学科 (令和5年度設置済)	広い学習空間・ラーニングポッド(L-pod)による自由な発想で学べる環境づくりや、魅力あふれる京都をフィールドにした探究活動の実施
8	兵庫県教育委員会	柏原高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	地域力を活用した探究活動の実践による学びの深化を通じて、「多様な価値観を共有する人材」を育成する教育課程
9	兵庫県教育委員会	御影高等学校	学際領域学科 (令和6年度予定)	人文・社会科学に、自然科学分野も取り込んだ学際的な学びを展開し、課題に協働的に取り組み、広い価値を創造する生徒を育てる
10	和歌山県教育委員会	串本古座高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	地域の多様な教育資源を活用した「宇宙探究コース」「地域探究コース」の設置を通じたSociety5.0を生き抜くために必要な能力の育成

※新学科設置(予定)年度は、構想段階のもの

新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）令和4年度指定校一覧



文部科学省

No.	管理機関	指定校	設置学科 新学科設置(予定)年度	教育課程の特色
11	和歌山県教育委員会	新宮高等学校	学際領域学科 (令和6年度予定)	蘇りの地「熊野」にかかわる学際的な学びによる、気づきや問いに誠実に向き合う広く深い学びの実現
12	和歌山県教育委員会	橋本高等学校	学際領域学科 (令和6年度予定)	学際的な分野に関する学校設定科目「世紀の空」と総合的な探究の時間・各教科を関連付け、開かれた広い視野での課題解決を実践
13	島根県教育委員会	隠岐島前高等学校	地域社会学科 (令和4年度設置済)	離島発「グローバル人材」育成のための「教科・探究学習が有機的に融合したカリキュラム」
14	愛媛県教育委員会	三崎高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	地域社会学を教育課程に位置づけたSTEAM教育・キャリア教育の推進等による「みさこうSTEAM教育」の実現
15	高知県教育委員会	清水高等学校	学際領域学科 (令和6年度予定)	ジョン万次郎の生涯を紐解き、現代社会の諸相についてSDGsの視点から考察することを通して、「21世紀のジョン万次郎」を育成
16	福岡県教育委員会	八幡高等学校	学際領域学科 (令和6年度予定)	学校設定教科「知の統合」による教科科目横断型授業と総合的な探究の時間「夢現プロジェクト」との往還
17	北九州市教育委員会	北九州市立高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	SDGsの視点から社会課題を捉え、探究活動と「産・官・学・民」の連携により社会変革とビジネスの一致を目指し、未来の社会をけん引する力を育成
18	長崎県教育委員会	松浦高等学校	地域社会学科 (令和4年度設置済)	「松高キャリア・プランニング」や「まつナビ・プロジェクト」(地域課題解決型学習)における探究活動等による、地域社会の未来を担うリーダーの育成
19	宮崎県教育委員会	飯野高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	学校設定科目「グローバル共創探究」による地域をフィールドとした探究活動や「超探究の日」等による、次世代に必要な力を地域と共育する学び
20	熊本市教育委員会	必由館高等学校	地域社会学科 (令和6年度予定)	学校設定科目「必由学」の新設、熊本市教育エコシステムの活用、データサイエンスを取り入れた学習活動等による特色・魅力ある学びの実現

※新学科設置(予定)年度は、構想段階のもの

【北海道釧路湖陵高等学校】

【目的】

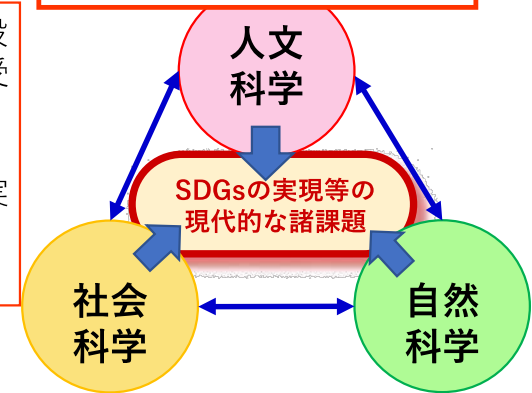
- SDGsの実現やSociety5.0の到来に伴う諸課題に対応した、**学際的・複合的な学問分野等の最先端の特色・魅力ある学びに重点的に取り組むことにより、生徒に対し将来の国際社会及び日本社会で求められる資質・能力を育成すること**
- 探究的な学習を重視したカリキュラム及び教育方法の一層の改善・充実に取り組むことにより、普通科を含めた**他学科における「総合的な探究の時間」**など探究的な学習の充実に向けて牽引・先導する役割を担うこと

【特色・魅力ある教育の概要】

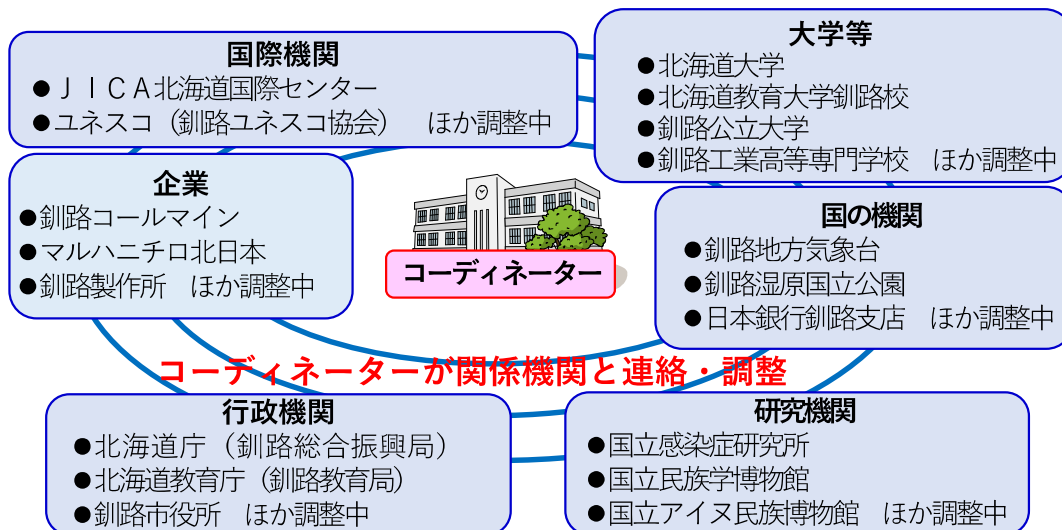
現代的な諸課題に対応するため、大学等で構成する**コンソーシアムの支援のもと、学際的な分野に関する学校設定教科に関する科目と、「総合的な探究の時間」**や各教科・科目を**有機的に結び付けた探究的な学習**を重視した教育活動の展開

- 学校設定科目「探究基礎」「探究ゼミ」等の開設
- 大学等との連携による「出前授業」「講義の受講」「講演会」等の実施
- 企業等と連携した合同研究や商品開発等の実施
- 自治体等と連携した施策改善に向けた提案等の実施
- 学習成果を発表する「探究サミット」の実施

多様な学問領域からアプローチ



コンソーシアムの構築方法



コーディネーターの役割

- 探究的な学習等の企画・立案
- 生徒募集、広報活動
- 関係機関との連絡・調整



コンソーシアム構成組織の役割

- 探究的な学習等への協力（出前授業、講演会、合同研究、施策提案等）
- 高校の教育活動への指導助言

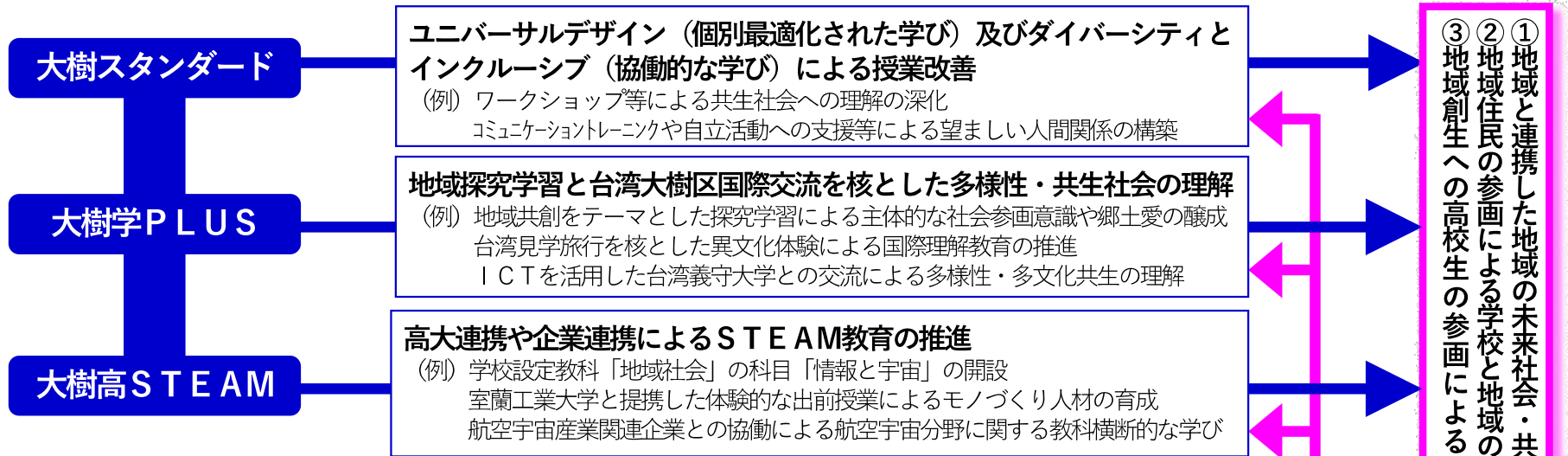
探究的な学習の持続的な運営が可能

【北海道大樹高等学校】

【目的】

- 現在及び将来の**地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な特色・魅力ある学び**に重点的に取り組むことにより、地域や社会の将来を担う人材に求められる資質・能力を育成すること
- 探究的な学習を重視したカリキュラム及び教育方法の開発に取り組むことにより、普通科を含めた**他学科における「総合的な探究の時間」**など探究的な学習の充実に向けて牽引・先導する役割を担うこと

【特色・魅力ある教育の概要】



コンソーシアムの構築方法

- コーディネーターの役割**
- 探究的な学習等の企画・立案
 - 生徒募集、広報活動
 - 関係機関との連絡・調整
- コンソーシアムの役割**
- 探究的な学習等への協力（出前授業、体験学習、ワークショップ）
 - 高校の教育活動への指導助言

- 地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な特色・魅力ある学びの実施
 農業、漁業、商工業、観光、宇宙など多種多様な地域人材の参画が必要
- 「大樹学PLUS」における「夢叶えるプロジェクト in 大樹」で協力いただいている機関等でコンソーシアムを構築【**コンソーシアムの迅速かつ円滑な構築**】
 - コーディネーターを配置【**コーディネーター機能の強化**】
 - コーディネーターを中心にコンソーシアムの構成員を拡大【**連携・協働先の拡大による探究的な学習など学校教育活動の充実**】
- (例) オフィスひびき、坂根牧場、大石農産、スペースコタン、インターステラテクノロジーズ、メモアースホテル、大樹町商工会、地域おこし協力隊、室蘭工業大学など

岩手県立大槌高等学校が取り組む新しい教育への挑戦

事業構想

大槌高校魅力化コンセプト「大海を航る大槌を持とう！」を全ての生徒が実現し、「学ぶことが楽しい」「もっと学びたい」と思う魅力的な学びの環境を地域と共に創ります。

事業の目的 必要性

[生徒の視点] 多様な能力・適性、興味関心を持った生徒に対しては一斉授業では対応できず**多様な学びを保証する個別最適化されたカリキュラムや教育方法の検討**が必要となっている。

[地域の視点] 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた大槌町は真の復興を遂げるため、**復興を担う人材の育成、地域・社会教育の拠点としての高校の重要性が増している。**

培う 資質能力 (仮)

自律

- ・ジブンゴト(当事者意識)
- ・課題設定力
- ・自己調整(学び続ける力)

協働

- ・共感・相互理解
- ・OneTeam(地域の中での役割)
- ・リーダーシップ

創造

- ・レジリエンス(逆境)
- ・価値創造(半径50cm革命)
- ・チャレンジ

※詳細は地域やコンソーシアムでの議論を経て決定

特色・魅力ある教育の概要

①生徒自らが選択・調整できる学び

生徒が学習する科目を自己決定し学ぶ意義や意味を見出す支援を行う
例：選択制の地域と協働した探究科目を新たに設置(家庭・音楽等)

②地域社会を舞台に学ぶ実践的な問いからはじまる探究

生徒一人ひとりの興味関心や問いからはじまる探究的な学びを支援
例：総合的な探究の時間の充実(5単位)、
5教科で本格実施する学校設定教科地域みらい学(12単位)

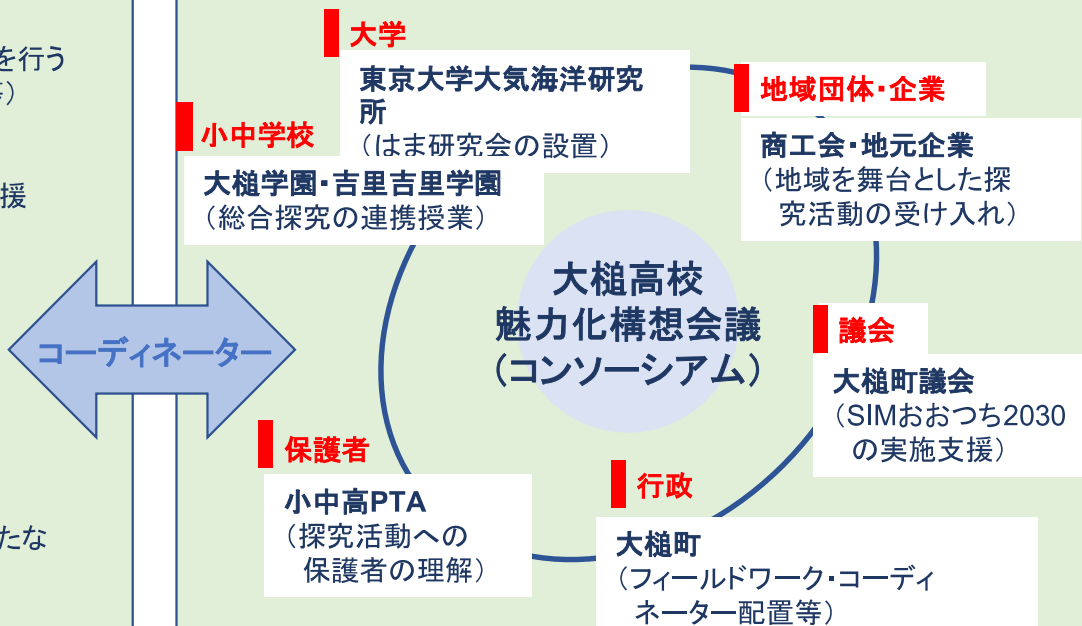
③放課後等の学校外に広がる探究的な学び

東大海洋研や地域の団体や事業所等、放課後の居場所と連携した学び
例：東大海洋研と連携した「はま研究会」、マイプロジェクト等

④個別最適なりメディアル教育の実践

多様な能力や適性を持った生徒の学習進度に応じて、ICT等の新たな教育方法を活用した学び直しを実践する
例：ICTドリルを活用した個別最適学習の時間確保

関係機関との連携・協働体制の構築方法



コーディネーターの配置

大槌町・認定NPO法人カタリバと連携し、高校へ派遣。新学科(地域社会学科：仮称)移行を目指すコンソーシアム体制の支援、特色魅力ある教育課程・教育方法の実現に向けたカリキュラム・マネジメント、探究教科のカリキュラム策定支援等を担当。

【専修大学北上高等学校】普通科ディープラーニングコース・アクティブラーニングコース

①本校の特徴～「学び方」によるコース再編～



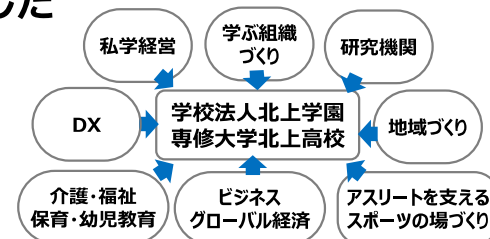
③本事業で検証する仮説

- 仮説1: スクールポリシーで定義した「8つの力」と「教科の学び」のつながりを生徒・教員間で共有・意識する仕組みを創ることで、「なぜ学ぶか」が明確化され、各教科・科目がより探究的になり、主体的で対話的な深い学びが実現する
- 仮説2: 普通科において「自らの学びを深め・それを社会につなげる時間」としての総合的な探究の時間を重点設置することで、一人ひとりの学びが深まり、結果としてそれぞれの自分らしい進路の実現と持続的な研究の実践につながる
- 仮説3: 普通科において学校の特性を活かした「知を社会で活かす」地域科目群を設定することにより、より主体的で深い学びが実現する

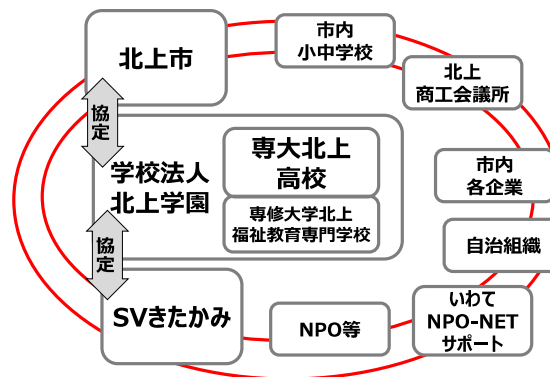
④推進体制

「探究」をキーワードにしたカリキュラム構築体制

運営指導委員会を中心に、「探究」をキーワードに多様な視点を融合させるかたちで、本校独自の「学び方」を構築します。



「進化するコンソーシアム」



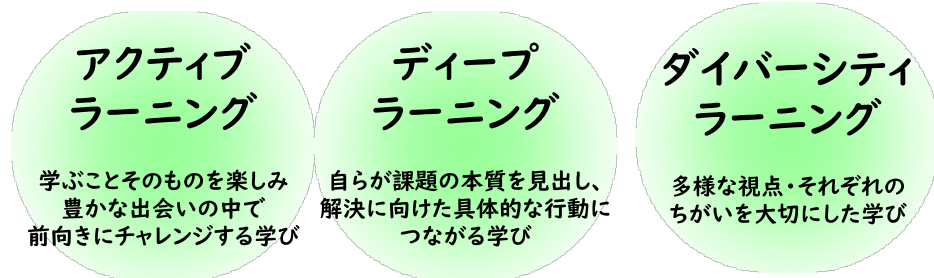
「SDGs実現に向けた人材育成推進に関する連携協定」を締結している北上市とともに直接的な事業に関連する皆さまとコンソーシアムをスタートさせ、次年度以降は、近隣小中学校との協働など、より地域全体での「未来を創る学び」の具体化に向けた取り組みを進めていく予定です。

本校は2022年度より、普通科をディープラーニングコース、アクティブラーニングコースの2コース制にコース改編します。

本校の改編のポイントは、生徒ひとりひとりの「未来を創る力」を育むことです。そのためには、①自分の学びたいことを自律的に深められる ②学びたいことと地域・世界がつながり学ぶことの意味が見える ことが大切であると考えます。そのため、1年次から自走を前提とした取り組みを展開します。この取り組みの結果を踏まえ、2024年度以降の学際領域学科および地域社会学科への移行の検討を行います。

②本事業で達成したいこと

3つの学びの実現～未来を創るカへ～



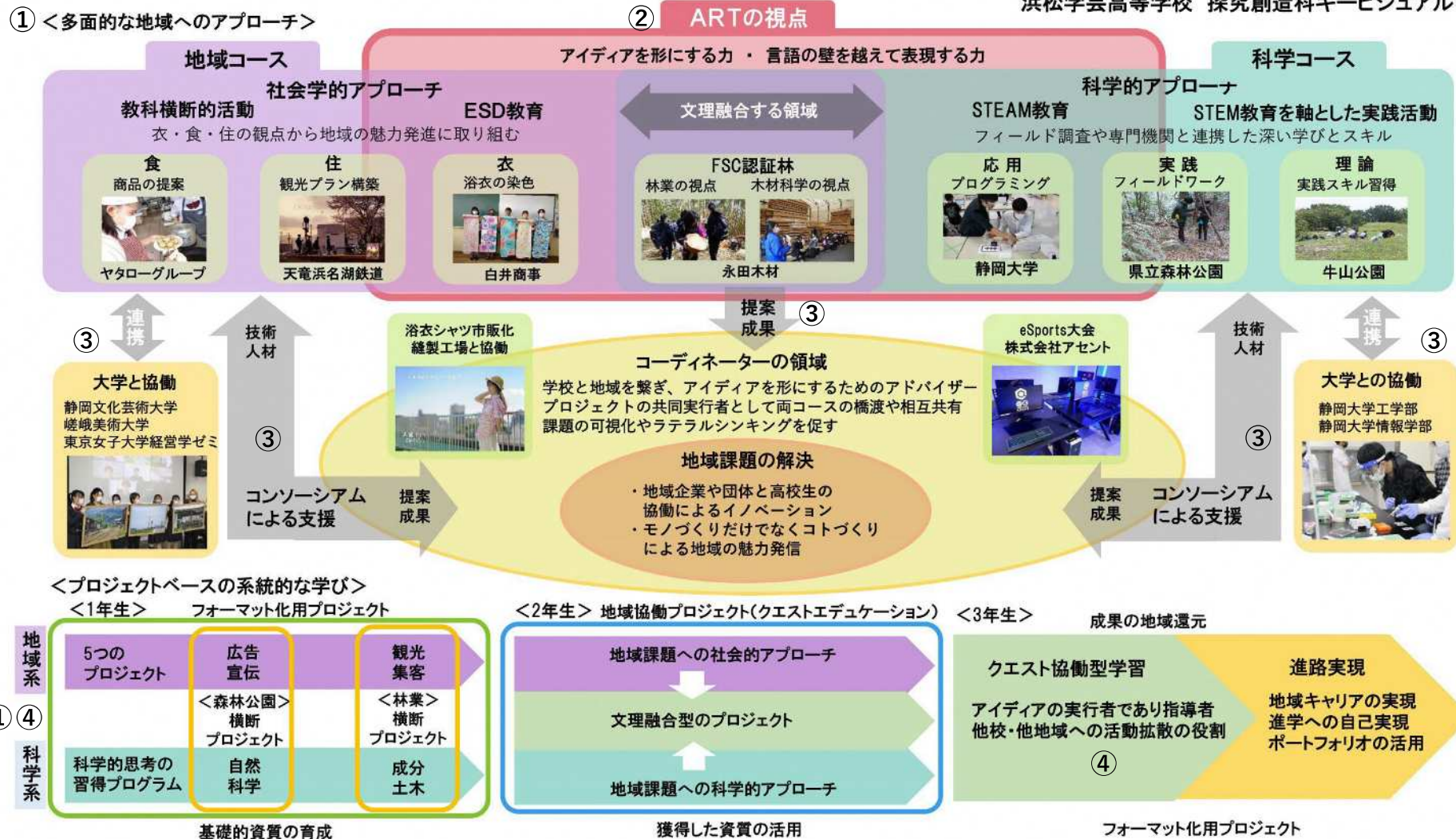
【浜松学芸高等学校】探究創造科（新設）

探究創造科の設置目的

- ①地域での学びを、既存の地域創造・科学創造の両コースを融合させた教科横断的・系統的な学びのカリキュラムとして再構築
- ②ARTをアイデアを形にする力ととらえ、成果を地域に還元
- ③プロジェクト型学習をベースに地域企業や専門機関と連携したプロジェクトを実施
- ④実施プロジェクトを教材としてパッケージ化し、他校との協働で拡散に取り組む

※下図の番号と連動

浜松学芸高等学校 探究創造科キービジュアル



【三重県立上野高等学校】

伊賀を想い、世界を見据え、社会の課題に挑戦し続ける人材の育成



「社会の形成者としての自覚と責任を持ち、
他者と協働しながら、解決に向けて主体的に行動する力」の育成



「国内外を学びの場とした探究プログラムの開発」を柱とした教育課程の編成

1. 新しい時代に対応した
カリキュラム及び教育方法の開発

1. 探究を核とした教育課程の実現
2. 文理が融合した新たな学びの実現
3. 地域に根差した教育の実現

学校設定科目「みらい探究F」における探究活動を補完する以下の取組を各学年で実施！

- ・SDGsに関する学習
- ・プログラミングや日常に潜む数理の学び
- ・STEAMリテラシーの育成に係る学習
- ・探究のまとめ、外部機関等における発表

2. 探究共創ネットワークの構築
～伊賀から世界へ～

1. 外部の教育力の活用
2. オンラインを活用した学びの充実
3. 学校を越えた高校生等との協働

学校の枠組みを越えるだけでなく、県外や海外をフィールドとした学びを実施！

- ・オンラインを活用した海外の学生等との交流
- ・探究共創ネットワークへの参画
- ・忍者をはじめとする伊賀の伝統を世界へ発信

学びの2本柱

伊賀から起こす学びのイノベーション



【京都市立開建高等学校】地域社会学科（令和5年度）

学校×社会で育成する「自らの成長とともに他者と協働しながら、よりよい未来社会の創造に主体的に取り組む人物（＝協創者）」

現在の課題

- ・学びに対する生徒のモチベーションが高められていないこと
- ・主体的に考え行動する力の育成ができていないこと

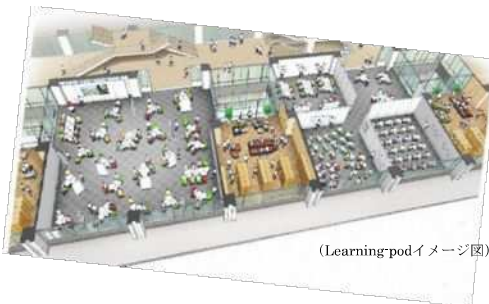
研究開発の目的

- ・学びのモチベーションを高める探究的な学びを重視したカリキュラムの構築
- ・京都の都市特性を最大限に活かし、未来を創造する力を育む教育活動の確立

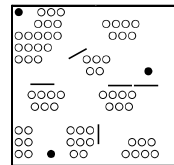
特色・魅力ある教育の概要

（1）授業が変わる

- ◆自分で問いを立てることを楽しみ、また多様な仲間との対話・協働、自身が学び方を選ぶ場面などを通して、生徒が自分で考える授業を展開する。
- ◆そのための施設として、普通教室4つ分の広い学習空間・ラーニングポッド（L-pod）を整備し、自由な発想で学べる環境をつくる。



たとえばこんな使い方



- ・グループワークの最中に、一部生徒を集めてミニ講義。
- ・可動壁を動かしてホワイトボードとして利用。

（2）魅力あふれる京都をフィールドに実践する探究活動

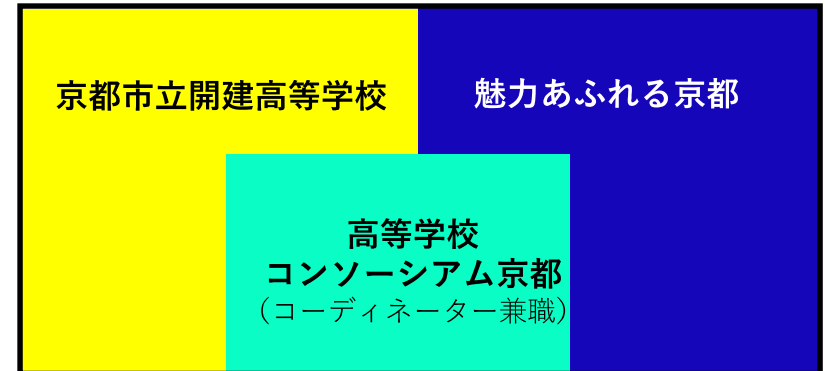
- ◆京都の企業、大学、地域、行政等と連携し、多様な人々と対話することで生徒の興味・関心を広げる。
- ◆地域・社会と協働して探究を行うなど経験を積み、自分たちでも未来を創造し、新しい価値を生み出すことができるという志を育む。

（3）生徒が夢中になれる課外活動

- ◆総合的な探究の時間等で見つけた興味・関心を専門的・発展的に深める課外プロジェクトや、生徒がやってみたい活動を企画・運営する「New HORIZON Day」、またボランティア活動などに挑戦する。
- ◆夢中になって活動を創り上げることで、更なる主体性を伸長する。

関係機関との連携・協働体制の構築方法

<学びのフィールド>



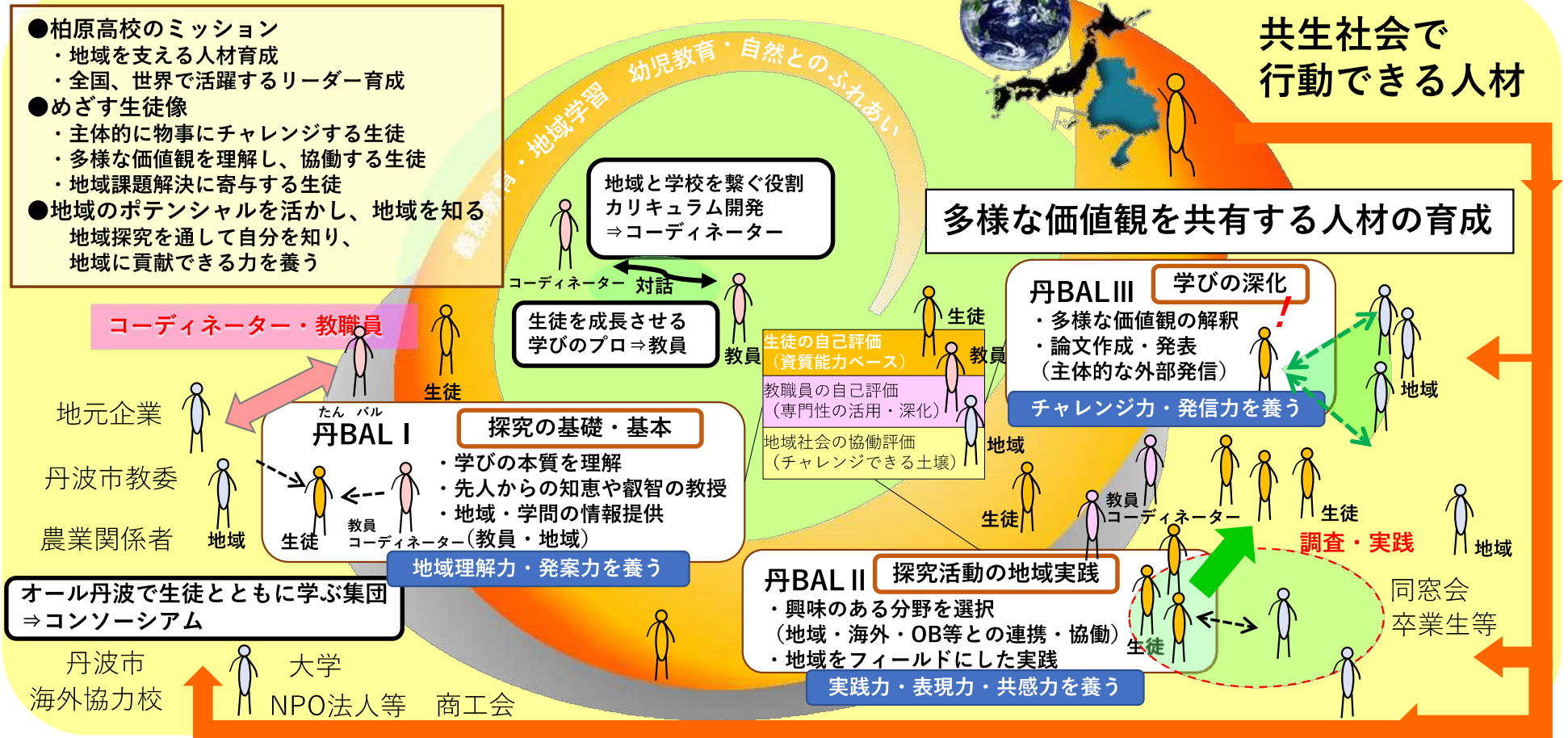
<構成団体>

- ・経済団体関係（京都商工会議所、京都経営者協会、京都経済同友会、京都工業会）
- ・大学関係（大学コンソーシアム京都）
- ・行政関係（京都市立高等学校長会、京都市教育委員会、京都市産業観光局）

- ◆高等学校コンソーシアム京都が学校、社会それぞれと深く関わり、連携先の紹介・提案等を通して、学校と社会を一体の学びのフィールドとする教育活動をコーディネートする。
- ◆その他、開建高校が立地する南区関係者を中心に構成され、高等学校コンソーシアム京都もオブザーバーとして参画する学校運営協議会とも、連携・協働体制を構築。

【兵庫県立柏原高等学校】地域社会学科

丹波からTAMBAへ・自己理解と他者理解の螺旋
地域力を活用した、「多様な価値観を共有する人材」を育成する教育課程の開発



3年間のミッション

- 地域資源を活かした新学科の意義を明確化
- 学校教職員とコーディネーターの協働体制構築 → 校内分掌改編
- 生徒の学びに対する意識変容 → 受動的な学びからの脱却

学科\学年	1年	2年	3年	合計
普通科新学科	40	40	40	120
普通科	160	160	160	480

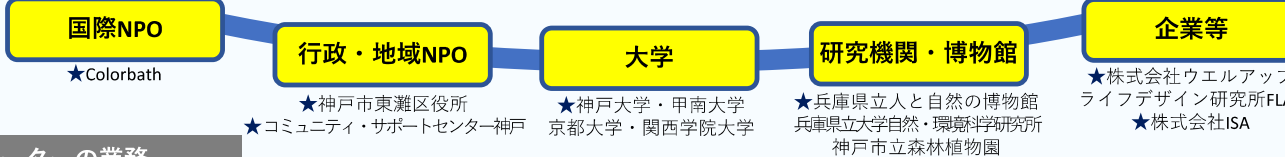
【兵庫県立御影高等学校】学際領域学科

文理の枠を超えた学びを通し、広い価値を創造する“Society5.0の時代に求められる生徒”を育てる学際領域学科の創設

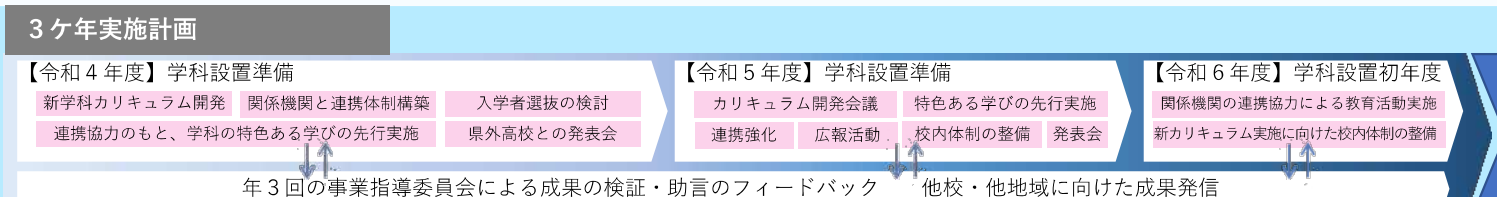
社会が抱えている課題	学科の特色			
<ul style="list-style-type: none"> SDGsの実現やSociety5.0の到来。 文系、理系の知識・思考だけでは対応できない課題が多いが、文理を超えた学びが展開されていない。 課題を一面的に捉える傾向がある。 	探究を軸とし、人文科学・社会科学の学びに加え、自然科学分野も取り込んだ学びを展開。課題に協働的に取り組む学びを実施する。	大学や研究機関、NPO等とコンソーシアムを創設。学びの共創による学科独自科目を展開。体系的に学びを深め、多様な認識を育てる。	総合人文コース15年間の実績を活かし、ワークショップ、STEAM講座、講演等、学科独自の取組を実施。生徒の資質・能力を養う。	学科独自科目を通じて培った思考力・判断力・表現力、学びに向かう主体性や協働性を活かし、幅広い価値創造ができる人を育てる。



連携機関 (★はMIKAGEコンソーシアム参画機関)



コーディネーターの業務
 学際的学びを新たに行うための高等教育機関や研究機関等との連携依頼や連絡調整、地域課題に係る探究活動充実のための行政機関や企業等との連絡調整、学科内容の周知・広報の検討、校内組織体制の整備等に加え、年数回開催予定のコンソーシアム会議・カリキュラム開発会議等、連携機関等との会議運営に携わり、学びの共創・事業全体の活性化に寄与。



育てたい力

- 主体性**
価値を見つけ生み出す感性
価値を見出す力・好奇心・発想力
- 協働性**
リーダー性・フォローシップ
- 課題解決能力**
読解力・データリテラシー
数学的思考力・科学的思考力
現状分析力・実行力
- 言語表現スキル**
発信力・対話力・創造性・構成員力
- 多様な認識**
文・理の枠を超えた高次の認識
多面的な認識・メタ認知能力

育てたい生徒像

これからの社会で活躍できる生徒

未来の自分を見据え、自ら問いを立て、主体的に最後まで粘り強く取り組むことができる生徒

価値観の多様性を認め、誰とも力を合わせて協働し、社会のリーダーとして活躍できる生徒

現状について正確に把握・分析し、見つけた課題を正しい知識や情報をもとに解決できる生徒

力強い一歩を、情熱と知的好奇心をもって踏み出し、失敗を恐れずに挑戦・発信できる生徒

スクールミッション達成

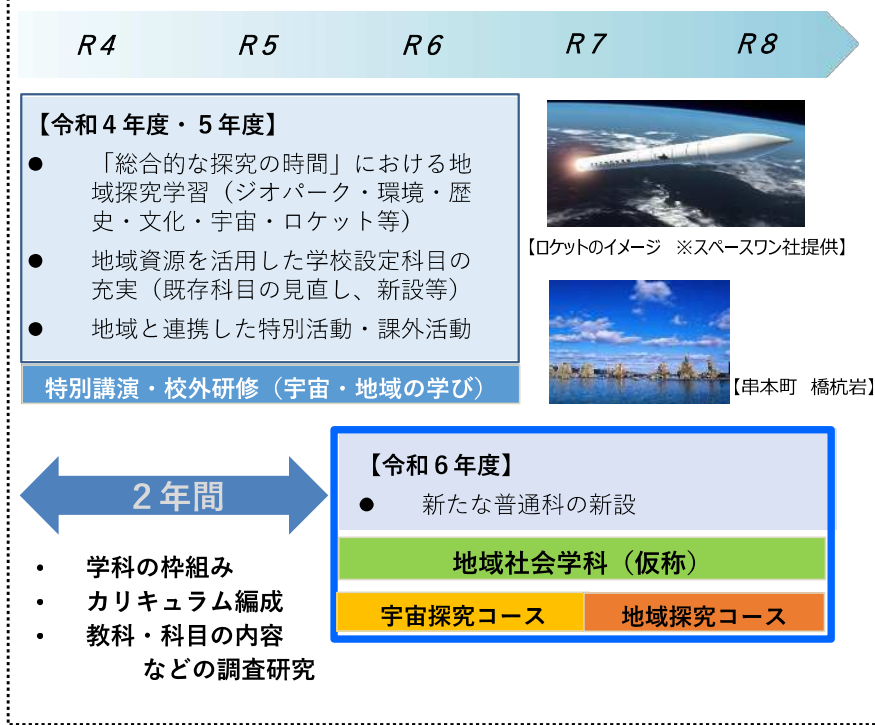
令和6年度入学生からの「宇宙探究コース」「地域探究コース」の設置に向けて、段階的に調査研究を実施

《設置の目的》

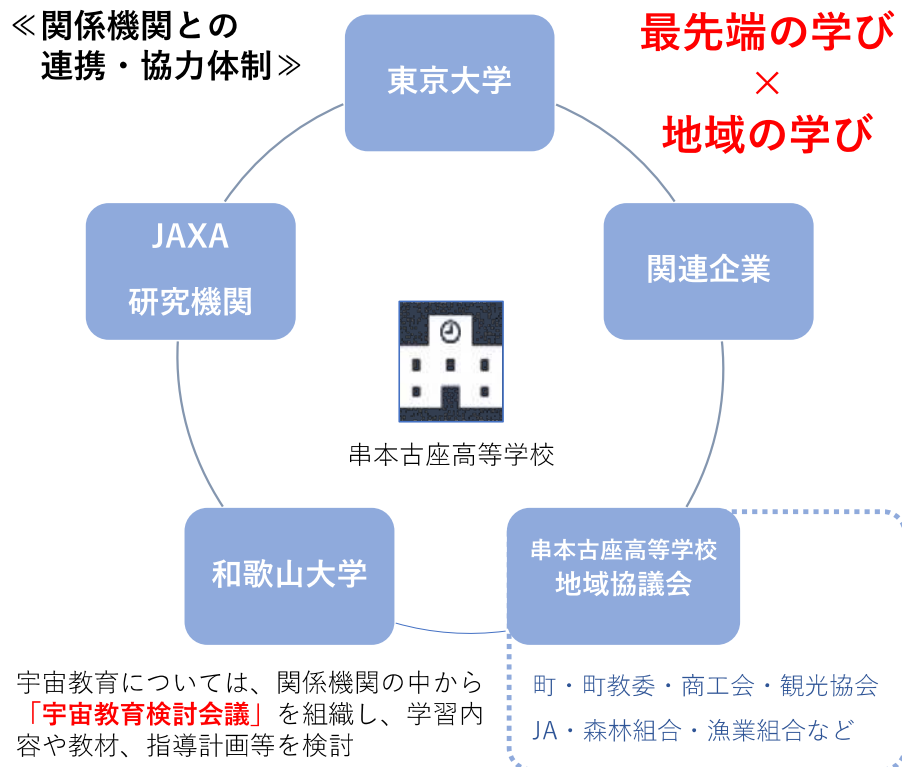
地域の様々な教育資源を活用し、自らの在り方・生き方としっかり向き合い、確固たる世界観や価値観、変化に柔軟に対応していく力、将来への展望等を併せもつ、Society 5.0 を生き抜くために必要な力を育成する

清流古座川、ラムサール条約登録地である沿岸海域のサンゴ群落、世界遺産として登録された紀伊山地の霊場と参詣道、南紀熊野ジオパーク、民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」、1890年のエルトゥールル号遭難事件以来のトルコとの交流など、地域の多様な教育資源を活用し、「宇宙探究コース」「地域探究コース」の2つのコースをもつ**新たな普通科**の設置に向けた調査研究を段階的に実施する

《ロードマップ》



《関係機関との連携・協力体制》



和歌山県立串本古座高等学校

蘇りの地「熊野」～くまのSpiritで新時代を創る！～

和歌山県立新宮高等学校

目指す人材像

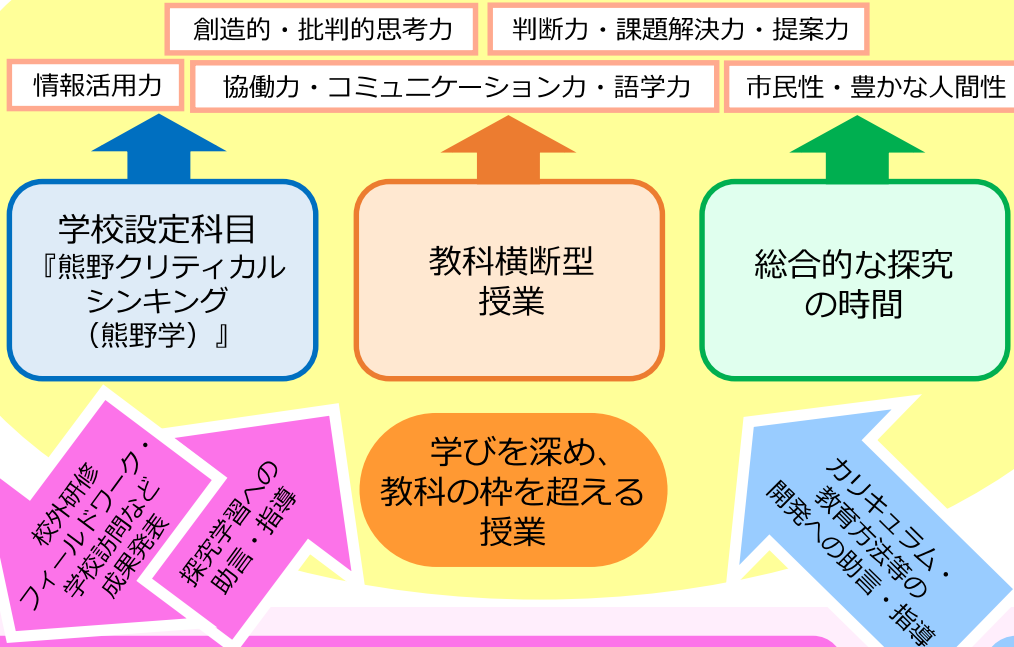
物事を多面的、包括的に捉え、人や文化を大切にできる人材

地元地域や国内外でリーダー・イノベーターとして活躍できる人材

☆ 視野を広げ、学び方や考え方を学ぶ

- ①熊野を知る
 - ・熊野の自然・歴史・文学等、過去・現在の熊野について知る
 - ・外から熊野を見る
- ↓
- ②世界を知る
 - 現代社会のありようを幅広い視点で捉え、特質や課題に迫る（講演・研修・新聞学習等）
- ↓
- ③考える
 - 多面的・総合的に考える
- ↓
- ④行動する

気づきや問いに誠実に向き合う 広く深い学びの実現



☆ 「熊野」にかかわる学際的な学び

- ①熊野に触れ、これからの熊野を考え、世界に発信する
 - 「歴史・文化」
 - 「地域経済・産業」
 - 「観光」
 - 「地域医療・福祉」
 - 「教育」「防災」
 - 「宇宙」「海洋資源」
 - 「環境保全・再生可能エネルギー」など
- ②SDGsの観点、Society5.0の到来を意識し、「新しい価値の創造」、「持続可能性」を実現する

コンソーシアム

和歌山大学

東京医療保健大学

南紀熊野ジオパークセンター

和歌山県世界遺産センター

国立スポーツ科学センター

和歌山県立医科大学

実践女子大学

ヤマネ・いきもの研究所

新宮ユネスコ協会

運営指導委員会

【和歌山県立橋本高等学校】学際領域学科（仮称）

目的：変化する社会の課題に対応し、自己有用感を持ち社会貢献できる人材を育成する

教育の概要

グローバル人材として活躍できるよう、コミュニケーション能力の育成を目指し、地域を含めた日本各地、また世界各国の社会人や高校生など、自分たちとは違う立場や環境にある人々との交流や、自分の研究について討議することで、多角的視点からの考察に基づく課題発表を実践する。

タイムスケジュール

「世紀の空」開講に向けた研究・コンソーシアムの構築

学際領域学科（仮称）開設

学校設定科目「世紀の空」開講
(3年間3単位)

「世紀の空」の概要

- 総合的な探究の時間・各教科との連携
- 他府県の高校生や国内外で活躍する社会人との討議
- 海外の高校生に和歌山の世界遺産や産業を英語で発信
- 「SDGs」をテーマとして課題設定し企業や大学と討議
- 地域→他地域→社会全体・世界全体と段階的に範囲を広げ、課題発見力を高める

多様な価値観との出会い、研究の深化、発表能力の向上
複合的視点で課題解決の方法を模索・発信

関係機関との連携・共同体制
コンソーシアムの構築

橋本高校

運営指導委員会

世紀の空推進委員会
事務局
(コーディネーター配置)

地域等

橋本市役所
株式会社 JTB

専門機関

和歌山大学

国際機関

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター
日越関西友好協会
国際協力機構 (JICA)

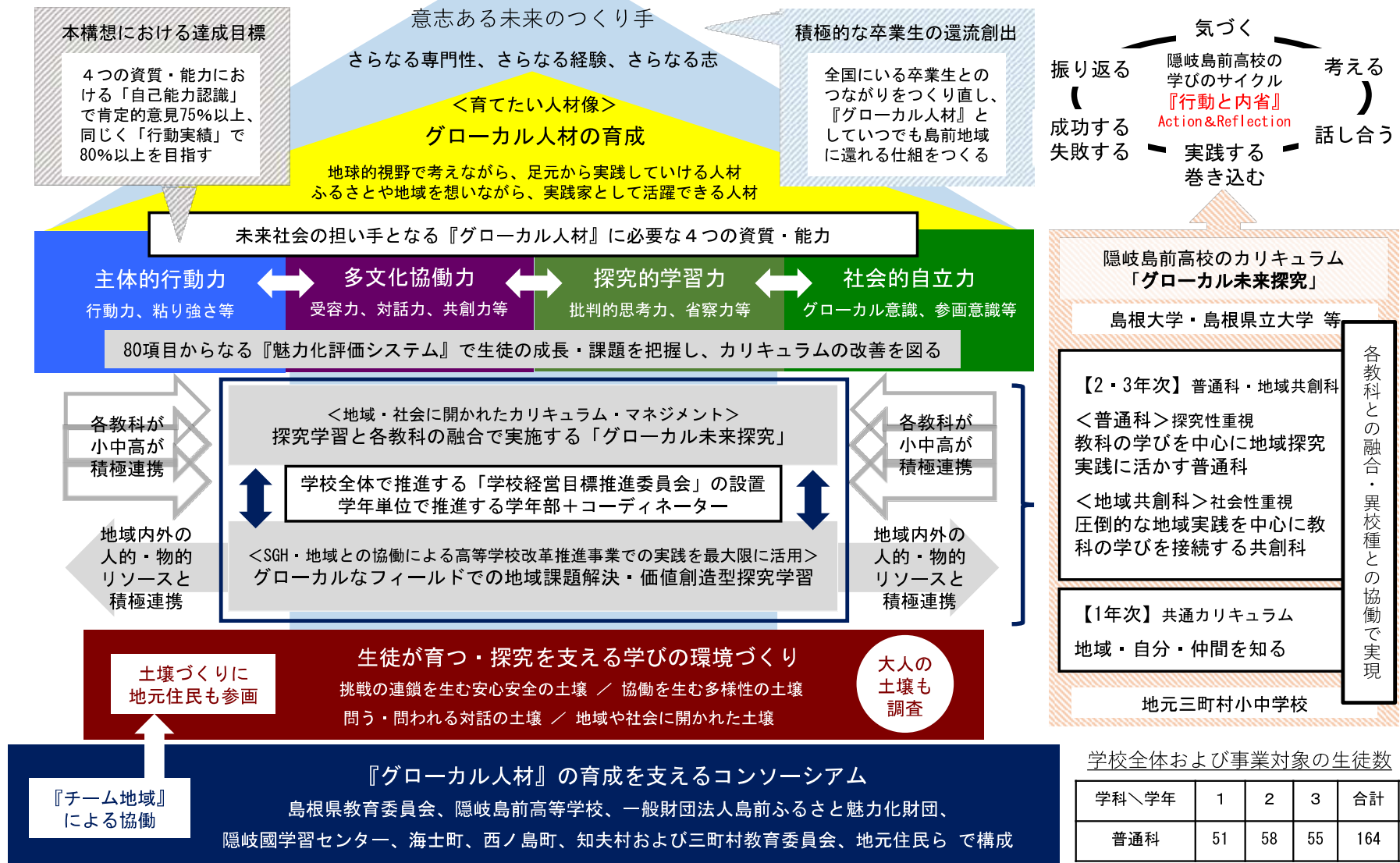
育む力

各力の概要

人間関係形成 ・社会形成能力	他者の考えや立場を理解するとともに、自身の状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働する力
自己理解 ・自己管理能力	自己と社会との相互関係を保ちつつ、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力
課題対応能力	様々な課題を発見・分析し、複合的視点から解決することができる力

【島根県立隠岐島前高等学校】

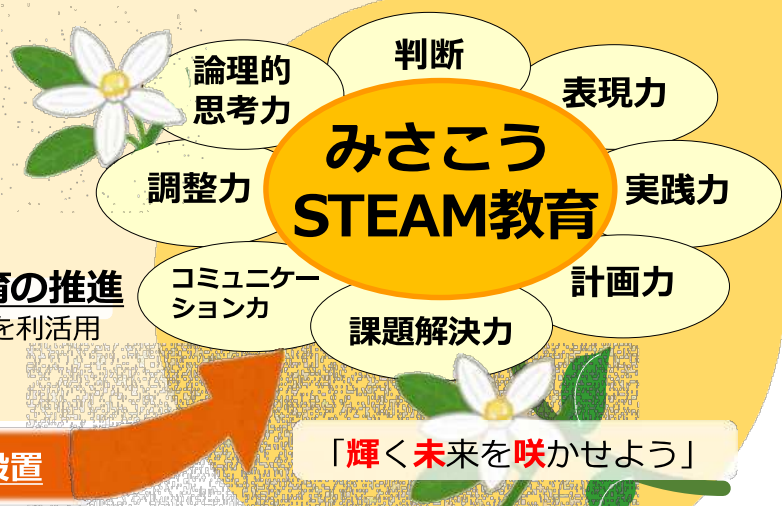
離島発「グローバル人材」育成のための「教科・探究学習が有機的に融合したカリキュラム」の開発



【愛媛県立三崎高等学校】地域社会学科（令和6年度設置予定）

地域社会学科

- **変化の激しい社会を生き抜くことができる人材の育成**
 - 地域探究活動を通じた「生きる力」の育成
 - 教科横断的な学びによる「多面的に学び、考える力」の修得
- **地域社会とつながる人材の育成**
 - 他者と協働し、自走するブーメラン人材
 - 新たな価値観や生き方を生み出す「デザイン思考」の醸成
- **地域社会学を教育課程に位置付けたSTEAM教育・キャリア教育の推進**
 - データサイエンスやプログラミング教育を学び、RESASなどのビッグデータを利活用
 - 地元企業・自治体と連携したインターンシップや進路相談会などの実施
 - 地域活性化につながる起業家育成プログラムの実施



「輝く未来を咲かせよう」

これまでの7年間の地域探究活動の取組を基盤とした、先進的な「地域社会学科」を設置

▶▶ オンリーワンのカリキュラムを開発

▶▶ 地域との連携をさらに強化

地域社会に開かれた教育課程	教科等横断型授業
3年次「起業家育成」 ◆ 起業プランの作成 ◆ 研究成果発表会 ◆ 他校との連携活動	充実した教科学習（1～3年） 総合的な探究の時間（1～3年）
2年次「地域課題の発見・解決」 ◆ 課題別研究 ◆ 県外視察研修 ◆ せんたんミーティング ◆ 個別探究活動	地域文化と国語（3年） トライブラーニング（2・3年）
1年次「地域理解」 ◆ 地域見学 ◆ 地域拠点での交流 ◆ 異年齢者交流 ◆ インターンシップ	郷土芸能概論（1～3年） 未咲輝学（1～3年）

特色ある
学校設定科目

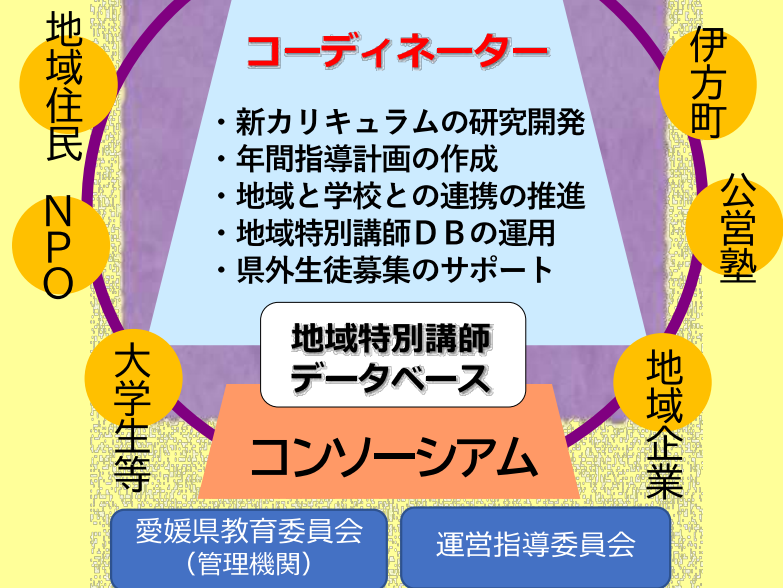
愛媛県立三崎高等学校

コーディネーター

- ・新カリキュラムの研究開発
- ・年間指導計画の作成
- ・地域と学校との連携の推進
- ・地域特別講師DBの運用
- ・県外生徒募集のサポート

地域特別講師
データベース

コンソーシアム



愛媛県教育委員会
(管理機関)

運営指導委員会

清水高校の学際的学び「ジョン万次郎×SDGs」

目指す人物像 21世紀のジョン万次郎

〈現状〉

- ・視野を広げる学び、頭を鍛える学びを享受できていない。
- ・よりよい社会と豊かな人生を創り出していく力が未形成である。
- ・主体的に人生を切り開いていく意志が確立できていない。

- ①自然科学、社会科学、人文科学の各分野について、横断的に学び、専門性にとらわれない柔軟な思考を身に付けている。
- ②課題や目的を自ら設定し、国際的な視野で問題を解決しようとする態度を身に付けている
- ③多様な他者と協働して新たな価値を創造する力を身に付けている

目標

- ①特定の分野に偏らない学びを実現させるため、文理融合した教科横断的なカリキュラムを開発する。
- ②最先端の科学を学ぶため、自然科学・社会科学・人文科学等の分野について、大学、研究機関、官公庁、民間企業等と連携する。
- ③国際的な視野を身に付けさせるため英語教育を充実し、国際交流を促進する。
- ④コンソーシアムと連携し、学校内外が一体化した教育活動を行うことで、社会に開かれた教育課程を実現する。

ジョン万次郎の生涯を紐解き、現代社会の諸相についてSDGsの視点から考察する

探究テーマ例

人文科学的探究

一様序列主義とダイバーシティ
→ジョン万次郎出生地である土佐藩と当時のアメリカ社会、そして現代の日本社会における人権について対比研究する。

社会科学的探究

科学技術の諸相と課題
→現代の科学技術の諸相と課題について、ジョン万次郎がみた19世紀当時のアメリカ産業社会の観点からアプローチする。

社会科学的探究

帝国主義とウクライナ侵攻
→ジョン万次郎帰国の要因が開国を促すとされているが、当時の帝国主義とロシアによるウクライナ侵攻を比較研究する。

自然科学的探究

海の豊かさと環境問題
→19世紀における捕鯨による生態系への影響を明らかにしたうえで、今日のグローバルな環境問題について考察する。



Think Globally, Act Locally!

【学校設定科目】
科学基礎Ⅰ
科学基礎Ⅱ
科学基礎Ⅲ

大学・研究機関・先端企業との連携

国立研究開発法人海洋研究開発機構高知コア研究所
土佐清水ジオパーク推進協議会
高知大学
高知工科大学
沖縄科学技術大学院大学
土佐清水市 等

【総合的な探究の時間】

・「The Destiny of a Castaway JOHN MANJIRO」等を通して、ジョン万次郎のストーリーについて分析・考察する
・SDGsの視点から、グローバル課題やSociety5.0の実現に伴う課題等を考察する

体系的・理論的に「知識習得方法」を習得
〔メタ認知を通じて、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等をバランスよく接続して育成〕

コンソーシアム

- ・最先端の科学技術について連携
- ・カリキュラム開発の支援

育成を目指す資質・能力

- ・未知なる分野に挑戦することができる創造的な知識・技能
- ・現代的な諸課題について、自らで課題を設定し、実相を多角的・多面的に考察する力
- ・自身が国際社会に生きる一員として自覚し、今後の科学技術の発展に寄与しようとする態度

主体的・対話的で深い学びの実現

探究の往還

資質・能力の育成

各教科における学び

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」

コーディネーター

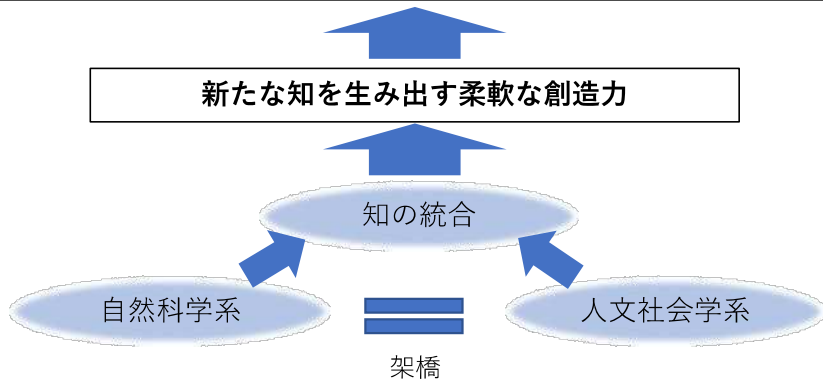
- ・国際交流の推進
- ・大学・地域等との折衝
- ・カリキュラム開発の支援
- ・授業改善の支援

教科を横断した学際的な学びを実現

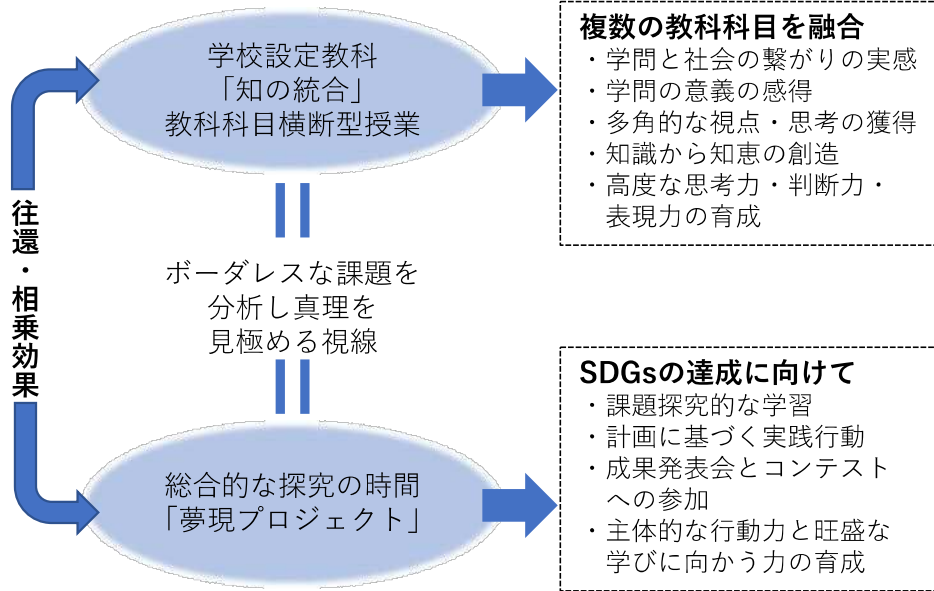
【福岡県立八幡高等学校】学際領域学科（設置（令和6年度））

学際領域学科設置の目的

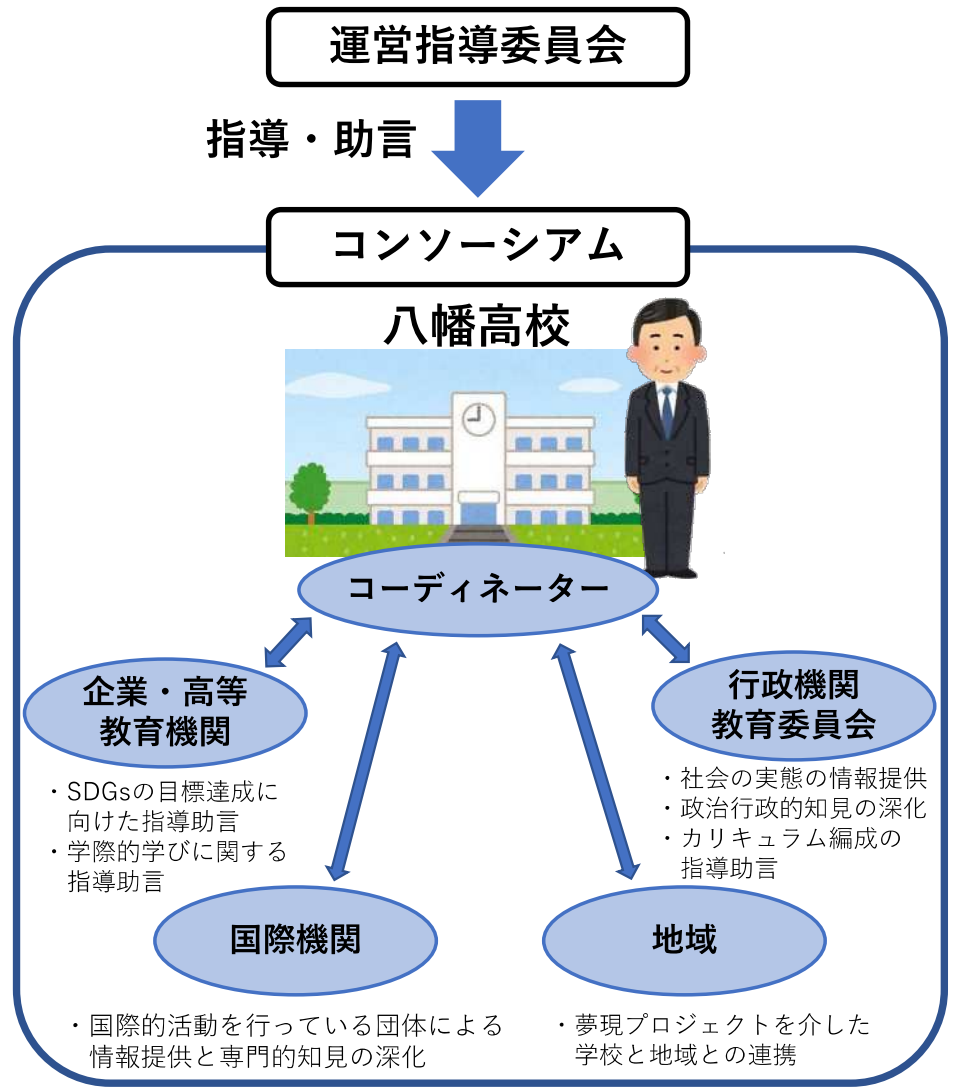
持続可能な社会をしなやかに根気強く創ろうとする人材の育成



特色・魅力ある教育の概要



関連機関との連携・協働体制の構築方法





【北九州市立高等学校】地域社会にかかる新学科を設置（令和6年度予定）

新学科の目的:

SDGsの視点から社会課題を捉え、探究活動と「産・官・学・民」の連携によって社会変革とビジネスの一致を目指すとともに、未来の社会や世界をけん引する力を備えた若者を育成します。

市民からさらに愛され、選ばれる学校へ

探究的な学習活動の充実

(PBL、STEAM等の手法を用いた学び)

SDGsをテーマに3年間に渡る学習を可能。学校内外の資源を活用し、専門家による研修などを通じて学習活動を充実

学校設定の独自教科を新設

企業や大学の協力と、情報ビジネス科との連携の下、社会問題・社会課題をビジネスの視点から着目し、解決に導くことを目指す。➡ 地方創生、新たな産業の創出

(仮称)「市高タイム」の導入

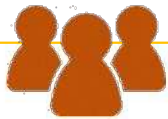
資格講座、小論文講座、地域活動、部活動等を選択でき、自分の裁量で学べる個別最適化された学習環境を提供

- ・生徒のキャリア育成
- ・地域人材の育成
- ・主権者教育
- ・小中高大の連携
- ・持続可能な地域との協働学習



学校を支援する人材

地域住民
企業、大学、行政

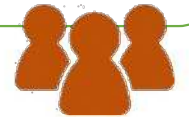


地域から

地域を支える人材

地域に愛着を持ち
地域に貢献する人物

創造性や行動力を
もった人物



地域へ

主体性・企画力・協働する力を持つ生徒の育成

コーディネーター

- ・外部との連携調整
- ・考察のみならず、事業化などの視点も取り入れたカリキュラムの開発など

学びたいことを積極的に提案
(主体性・企画力)



提案に応じた学校支援

情報ビジネス科との協働・交流
(商業のノウハウなど)

運営指導委員会

事業の目的・年間計画等の検討・承認

「産・官・学・民」連携によるコンソーシアム

「北九州市立」だからできること

● 市内唯一の「市立」高等学校である強み

- ・市立小・中・高と系統的な学びが可能
- ・北九州市役所の様々な部署（産業経済局、環境局等）との連携、協力体制を構築（多種多様な分野の外部人材、企業等との連携が可能）

● 「産・官・学・民」が連携して世界の環境都市に成長した実績

- ・「産・官・学・民」の力で公害を克服した実績（ピンチをチャンスに変えてきた「市民力」の精神）
- ・環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市等の取組を通じて、シビックプライドを醸成（北九州市民であることの誇り）

「産・官・学・民」が連携して公害を克服



OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定



【長崎県立松浦高等学校】地域科学科（地域社会学科）（令和4年度設置）

目的	地域社会の未来を担うリーダーの育成 ～目指す資質・能力の涵養と地域活性化への貢献～	育成を 目指す 資質・ 能力	実施計画に基づき、次の①～⑥の資質・能力の育成を図る Ⅰ キャリア形成力（目標の実現に向けて努力を続ける力） ①キャリア・プランニング力 ②自ら学び、行動する力 ③課題分析・解決能力 ④コミュニケーション力 Ⅱ 責任言動力（⑤責任感と品性ある言動） Ⅲ ふるさと貢献力（⑥ふるさとへの貢献意欲）
目標	Ⅰ 生徒個々のキャリアプランに基づく進路希望の実現 Ⅱ 中学校、大学等との協働による地域活性化への貢献 Ⅲ 県内外の「地域高校」との連携等による学校活性化		

実施計画（内容・方法・体制等）	実施内容	実施方法等	実施体制等	成果指標
計画Ⅰ	生徒の自己有能感を高める教育活動と学習評価を一体的に行うカリキュラムの研究開発	育成を目指す資質・能力を生徒が獲得するため、各教育活動の充実と学習評価（ループリック評価規準）の活用を一体として進める		○キャリアプランを踏まえた、進路希望実現率（％） ※キャリアプラン策定及びその実現に向けたプロセスを併せて分析
計画Ⅱ	地域及び学校活性化を図る教育活動等への支援体制（コンソーシアム等）の構築・充実	まつナビ・プロジェクト（地域課題解決型学習）での探究活動及び地域の中学生・高校生のキャリア形成力育成を図る活動への支援の充実を図る		○発表会等において、地域活性化への貢献度が高いと認められた研究プロジェクト数の割合（％）
成果指標	県内外の「地域に根ざした高校」のネットワークの構築と協働による、参加各校の活性化	目指す資質・能力の獲得に向けた生徒の意欲を高めるため、県内外の「地域における学び」を推進している高校との連携・協働研究等をすすめる		○育成したい資質・能力に関するループリック評価規準の到達度における生徒自己評価の平均値 ○県内外の連携校数

3 年間の実施計画	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画Ⅰ	各教育活動ループリック評価規準作成・実践・改善	キャリアプランの作成状況を踏まえたループリック評価規準の検証・改善、各教育活動への反映	1 回生のキャリアプラン実現に向けたプロセスの検証等による総括、次年度以降の計画策定
計画Ⅱ	中高・高大職連携の推進とその効果等の検証に基づく連携体制の在り方を含む改善	前年度の検証等を踏まえた支援体制の充実と生徒の探究活動等への支援の検証・改善	地域・学校活性化に向けた、3年間の生徒支援の検証等による総括、次年度以降の計画策定
計画Ⅲ	「地域高校」ネットワークの構築・交流開始	「地域高校」ネットワーク参加校における協働活動の推進	「地域高校」ネットワークの3年間の取組の検証等による総括、次年度以降の計画策定

【宮崎県立飯野高等学校】

地域社会学科設置の目的

本校が所在する宮崎県えびの市でも、地域社会で直面する様々な課題の解決に向けて、地域と学校が協働して新時代の人材を育成する取り組みの強化を図ることが必須となっている。

本学科は、グローバルな視点で地域課題を俯瞰・分析し、解決に向けてアクションを起こす人材を育成するため、創造的なカリキュラム開発により以下を実現する。

- ①学校と地域が共育して次世代に必要な力を育成する学びへ転換
- ②画一的な普通科の在り方を見直し、共学・共育により教育マインドを転換
- ③地域社会の様々な分野におけるリーダーを育成する地域創生の拠点を形成

特色・魅力ある教育の概要

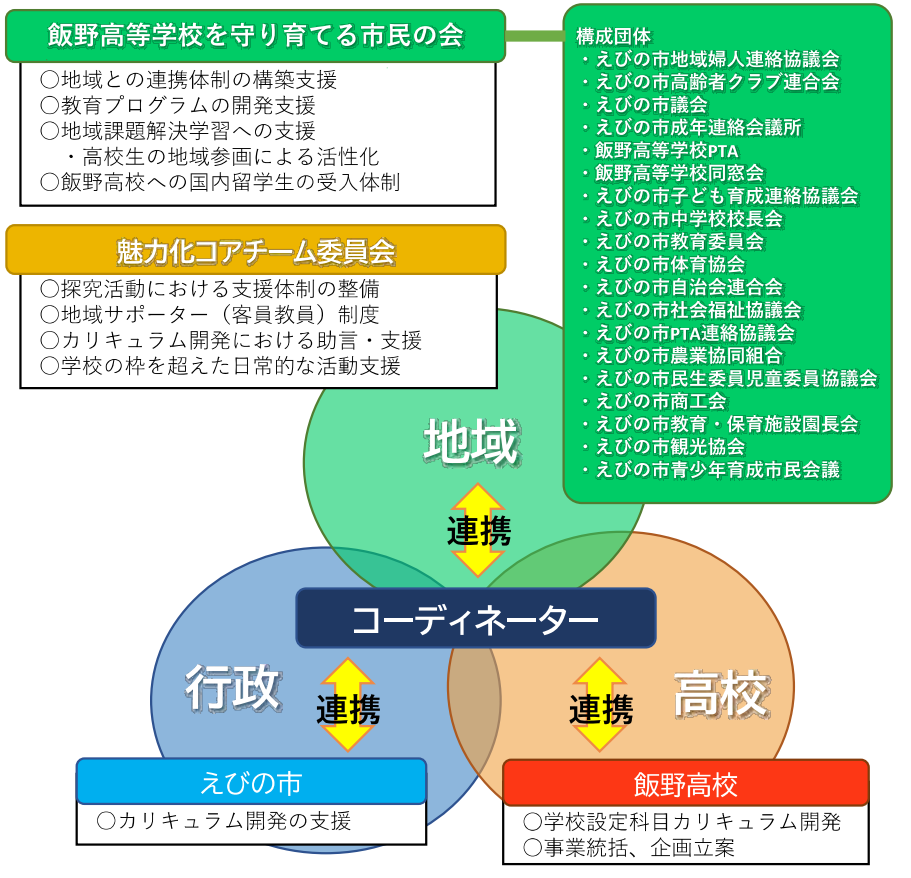
- ①新たな学科に学校設定科目「グローバル共創探究」を開設し、地域をフィールドに「実践」を必須としたプロジェクト型の探究活動を実施する。
- ②デザイン思考による実践教育により創造力を育成する。
- ③学びのプロセスと主体性を重視し、例えば、地域の農業の課題解決に向けた「Arts×科学」など教科学習を越えた学びから社会貢献につなげる。
- ④グローバルの2つの視点で地域社会の課題を俯瞰・分析し、プロジェクトを通じてITスキルやプレゼン力、対話力などを幅広く習得する。
- ⑤文系・理系の枠を超えた文理融合のカリキュラムの一環として、地域サポーターによる「学習サークル」を立ち上げ学びの幅を拡充する。
- ⑥「超探究の日」（1日探究の日）を設定する。



関係機関との連携・協働体制の構築方法

既存のコンソーシアムである「飯野高校を守り育てる市民の会」を中心に、えびの市、市内各団体、企業（事業所）などと新たな連携協定を結び、新たに配置するコーディネーターにより新学科における学びの構築と支援を行う。

コーディネーターを核とした連携・協働体制(案)



【熊本市立必由館高等学校】地域社会にかかる新学科を設置（令和6年度予定）

教育理念： 自ら考え、主体的に行動し、多様な人々と協働しながら、自らの人生とよりよい社会を創造する力を育てる学校を目指す

革新的な教育活動の実践

《育成する資質・能力》

- I 多様な価値観を尊重し、新たな価値を創造する力
- II 社会に関する理解を深め、地域の課題や魅力を見出す力
- III 分野横断的に課題を分析し、論理立てて表現する力
- IV 自己の興味・関心に応じて、生涯にわたって学び続ける力

《特色・魅力ある先進的な教育の取組》

①少人数によるクラス編制、

生徒が主体的・協働的に学ぶ仕組み

多様な生徒へのきめ細かな指導、支援を実現
1クラス30人または35人の少人数によるクラスを編制
生徒が主体的・協働的に学ぶことのできる授業づくり

②「学校設定科目 必由学」の新設

持続可能な社会の創り手としての資質・能力を育み、「Well-being」としての社会情緒的能力などを醸成

③熊本市役所等、地域社会の資源を活用した

課題解決型学習の充実

市役所の全面的な協力体制のもと、市立ならではの教科等横断的・探究的学習を行う。

④探究活動等で収集したデータを科学的に

分析・検証し活用する力の育成

ICTを活用することにより、課題解決に向けデータを科学的に分析・検証し、表現する力の育成を目指す。

⑤生徒・教師が主体的に学校づくりに参画する Agency School

生徒が授業づくりや校則の策定・見直しなど、生徒が学校創生に参画教育実践及び教育的効果を積極的に国内外に還元するとともに、自らの学びは自らが創る Agency Schoolを目指す。

様々な教育活動を支援



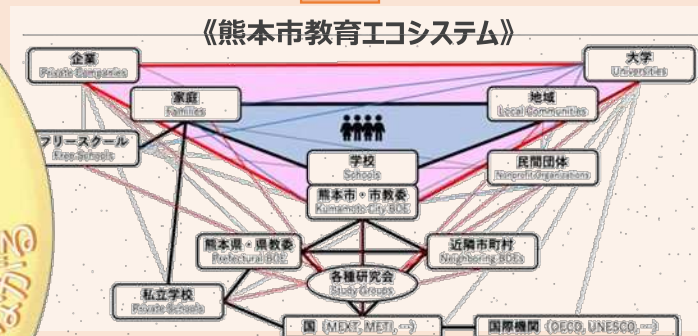
成果を積極的に発信

連携協力体制

《コンソーシアム》

ESD×キャリア教育 STEAM×ICT

熊本市教育エコシステムから、より中核的に本校の教育活動を支援する。



広報活動



熊本市教育委員会主催の教育イベントである「Kumamoto Education Week」において、本校生徒による先進的な取組に関するプレゼンテーションやコーディネーター等によるパネルディスカッションを行い全国に向けて本市の先進的な取組を積極的に発信する。

※令和3年度の「Kumamoto Education Week」の内容はコチラ→



新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）令和5年度指定校一覧



No.	管理機関	指定校	設置学科 新学科設置(予定)年度	教育課程の特色
1	北海道教育委員会	岩見沢東高等学校	学際領域学科 (令和7年度予定)	学際的、複合的な最先端の学問分野の知見に基づき、地域から世界の諸課題の解決に向けて段階的に学ぶ探究学習によるグローバルな視野の育成
2	愛知県教育委員会	惟信高等学校	地域社会学科 (令和7年度予定)	普通科・グローバル探究科で共通の「総合的な探究の時間」による学びの相乗効果と、グローバル探究科の生徒主体による計画・準備・実施を主軸とするカリキュラム
3	愛知県教育委員会	美和高等学校	地域社会学科 (令和7年度予定)	地域の魅力探究・連携機関や大学との協働・自らの知識や技術を地域社会に還元することをテーマとした教育課程をもとに、豊かな人間性を備えた地域の未来の担い手を育成
4	滋賀県教育委員会	伊香高等学校	地域社会学科 (令和7年度予定)	滋賀県北部地域の豊かな自然環境の中、「森で学ぶ」をコンセプトに、生徒の「生きる力」を地域とともに育む〈ゼロ・カーボン・ハイスクール〉を目指す
5	滋賀県教育委員会	守山北高等学校	地域社会学科 (令和7年度予定)	学校設定教科「みらい共創」による「地域をフィールドとした学び」と「ウェルビーイング」を柱に、多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい地域の未来を創造
6	兵庫県教育委員会	篠山鳳鳴高等学校	その他普通科 (令和6年度予定)	文理融合の学びを土台とし、地域の企業・海外の関係機関等との連携や先端技術を用いた探究活動を通じて、既存の枠に捉われない新たな価値を創造する学びを展開
7	兵庫県教育委員会	姫路飾西高等学校	その他普通科 (令和6年度予定)	先進技術の体験やプログラミング、企業とのワークショップ等を通じた、社会課題の解決や未来社会の創造を「自分ごと」として捉えさせる学び
8	広島市教育委員会	美鈴が丘高等学校	地域社会学科 (令和7年度予定)	国際平和文化都市「広島」をフィールドとし、探究を深化させる学校設定教科、社会と繋がる問いを重視した授業、学年の枠を超えた探究活動を一体的に展開
9	鹿児島県教育委員会	種子島中央高等学校	その他普通科 (令和6年度予定)	幅広い知識の上にデジタル技術の活用を学び、自ら発見した課題に対し、効果的な解決方法を選択し、実践できる資質・能力を育成

※新学科設置(予定)年度は、構想段階のもの

【北海道岩見沢東高等学校】学際領域学科（令和7年度設置）

目的

- 外部の機関等の協力のもと学際的、複合的な最先端の学問分野の知見に基づく探究的な学びに取り組むことにより、予測困難なこれからの社会の持続・発展に寄与する知識、技能、態度を身に付けた生徒を育成する。
- 総合的な探究の時間や学校設定科目を核としたカリキュラムマネジメント及び教育プログラムの開発に取り組むことにより、地域の期待に応える高校づくりを進めるとともに、本道における普通科新学科校のモデルとなる。

現代的な諸課題を自分事としてとらえ、地域から世界の諸課題へ段階的に学びを発展させる探究学習



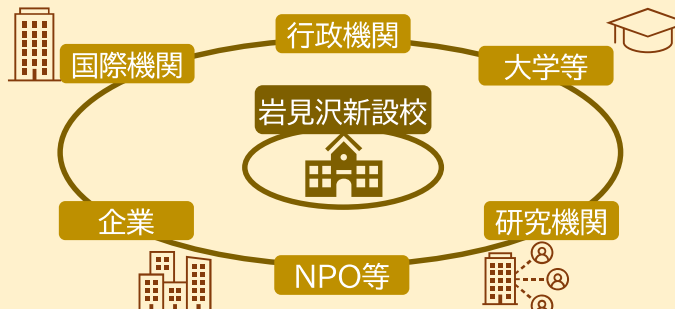
特色・魅力ある教育の概要

令和7年
統合新設校
開校

我が国や国際社会の問題や課題を発見・解決し、
新たな価値を創造できる生徒を育成する
魅力ある新学科の開設

コンソーシアムの構築方法

これまでの探究学習、進路指導等でつながった関係機関（連携協議会）を核として、本校同窓会及び地域の行政機関の協力を得ながら、市内の他校とも連携し、岩見沢市内の高等学校における教育の発展・充実に資する連携協力体制の構築を目指す。



コーディネーター

コーディネーター

【愛知県立惟信高等学校】地域社会学科（設置（令和7年度））

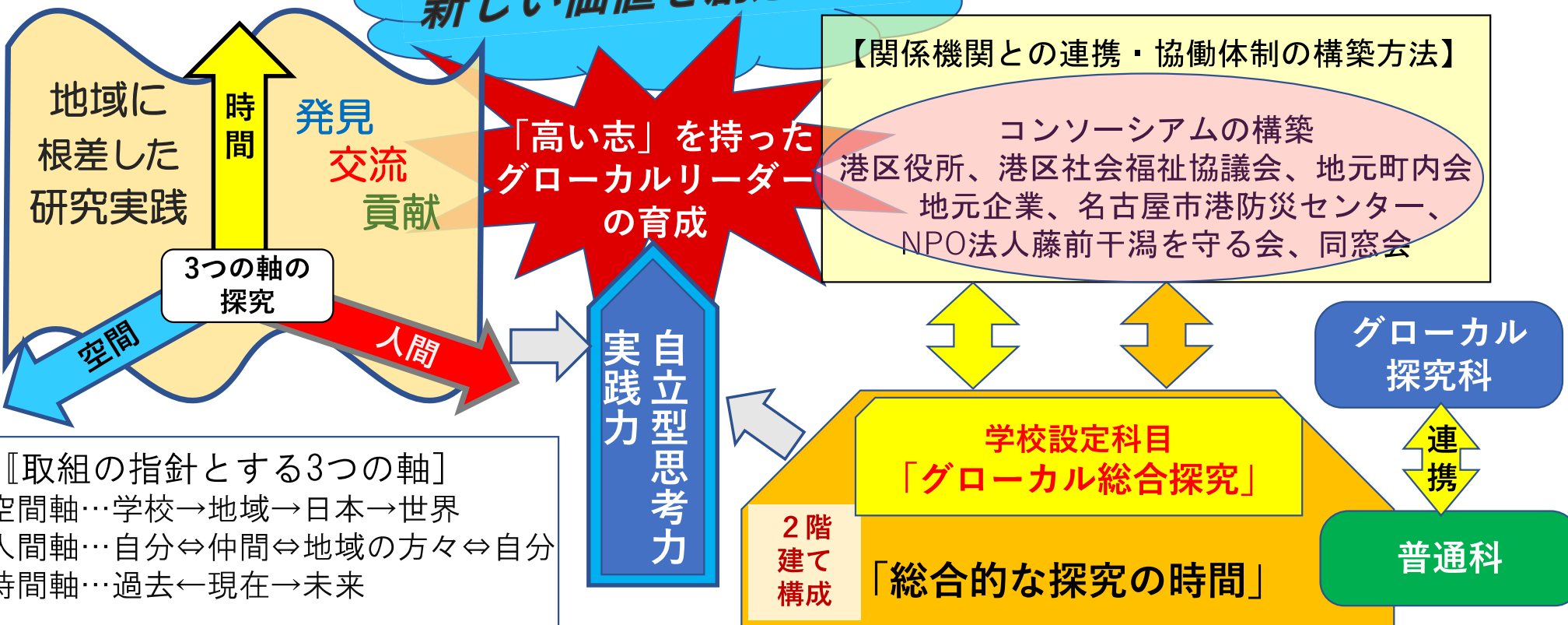
グローバル探究科

地域に根差した探究活動により、「実践力」と「自立型思考力」を育み、多文化共生社会で新しい価値を創造し、地域社会に貢献できるグローバル人材を育成する

教育の特色・ねらい

- ネット空間にはないリアルな肌感覚のある学びを重視し、「実践力」を育成
- 「空間軸」「時間軸」「人間軸」の3つの軸をもって探究活動（実践）に取り組むことで、「自立型思考」を育成
- 普通科生徒も共に学ぶ「総合的な探究の時間」を通して、互いに刺激し、影響を与え合うことで、学校全体に「実践力」と「自立型思考力」が普及し、生徒全員が力強く地域社会で活躍するグローバル人材となる。

新しい価値を創造する



〔取組の指針とする3つの軸〕
 空間軸…学校→地域→日本→世界
 人間軸…自分⇄仲間⇄地域の方々⇄自分
 時間軸…過去←現在→未来

【愛知県立美和高等学校】地域社会学科（設置：令和7年度予定）

小学生向け七宝焼講座



地域と自分の美しさを知り 人と人の和の力で 未来を拓く生徒を育む

みわこう 美和高 Makes Innovators with Neighbors Dramatically

～地域とともに 未来を革新する人材を育てる～

あま市PR活動



※「美和高マインド」は、令和3年度に設置した地域連携センターの名称であり、「美和高校の地域貢献の精神」を示すとともに「未来の革新者を育てる教育」の意味を込めた言葉です。
※地域連携センター「美和高マインド」では、地域の代表者とともに年3回の定例会議を行い、高校生と地域でできる地域活性化について検討を重ねています。

【設置の目的】

地域と協働し、生徒を軸とした地域活性化に取り組むとともに
生徒の物事を肯定する力と不安定な時代を生き抜く力を育み、
地域の未来の担い手を育成するカリキュラムを編成すること

七宝焼のように輝く 七つの資質・能力の育成を目標とします

課題発見力 情報活用力 問題解決力 実践力
対話力 思いやり 豊かな人間性

美和高等学校と 連携機関・大学との協働体制

【運営指導委員会】
外部有識者
愛知県教育委員会 等

運営指導委員会の指導・助言を
もとにカリキュラムを編成し、連
携機関・大学との協働を通し、カ
リキュラムを改善し続けていく仕
組みづくりを目指します

商工会との意見交換会



指導・助言

美和高等学校

地域イベント運営



地域で学ぶ機会を提供

高度な学びの機会を提供

【コンソーシアム】あま市・大治町等
市役所 商工会 社会福祉協議会
NPO法人 教育委員会
中学校 小学校 等

【コンソーシアム】東海地区の大学
愛知県立大学（予定） 三重大学（予定）
岐阜大学（予定） 愛知大学（予定）
名古屋文理大学 星城大学

特色・魅力ある教育活動の概要

未来を拓く3年生

学校設定科目

3年生・2単位
・13の総合選択講座を開講
※自分が希望する学問分野の基礎を学ぶ講座
※地域住民へのプレゼンテーションや実習講
座を含む

教科等 横断的な学び

3年生
・総合選択講座指導
・プレゼン・実習に
向けた総合的指導
※情報発信実践・実
習に向けた専門知識
の伝達等

和をつくる2年生

総合的な 探究の時間

2年生・1単位
・地域興隆イベント
に向けての準備
・小中学校向け出前
講座の企画・実践

学校設定科目

2年生・1単位
・地域興隆イベント
の運営に参画
(例)あま市主催「あま
つり」・商工会主催
「イルミネーション
フェスタ」

教科等 横断的な学び

2年生
・出前講座等に向け
ての教科的な指導
(例)ドッジボール講座
⇒実技・応急手当の知
識等の伝達

美を知る1年生

総合的な 探究の時間

1年生・1単位
・地域資源発掘のため
のグループワーク
・地域の資源を共有す
る成果発表会
・連携大学とのフィー
ルドワーク

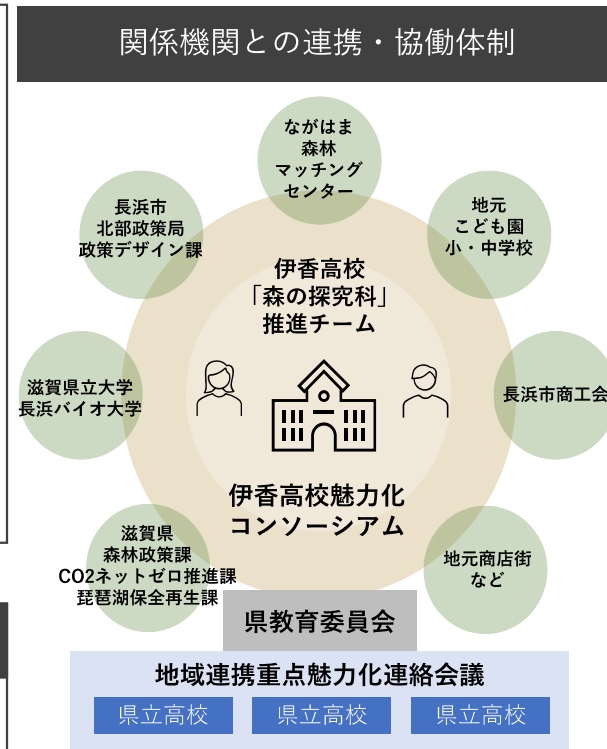
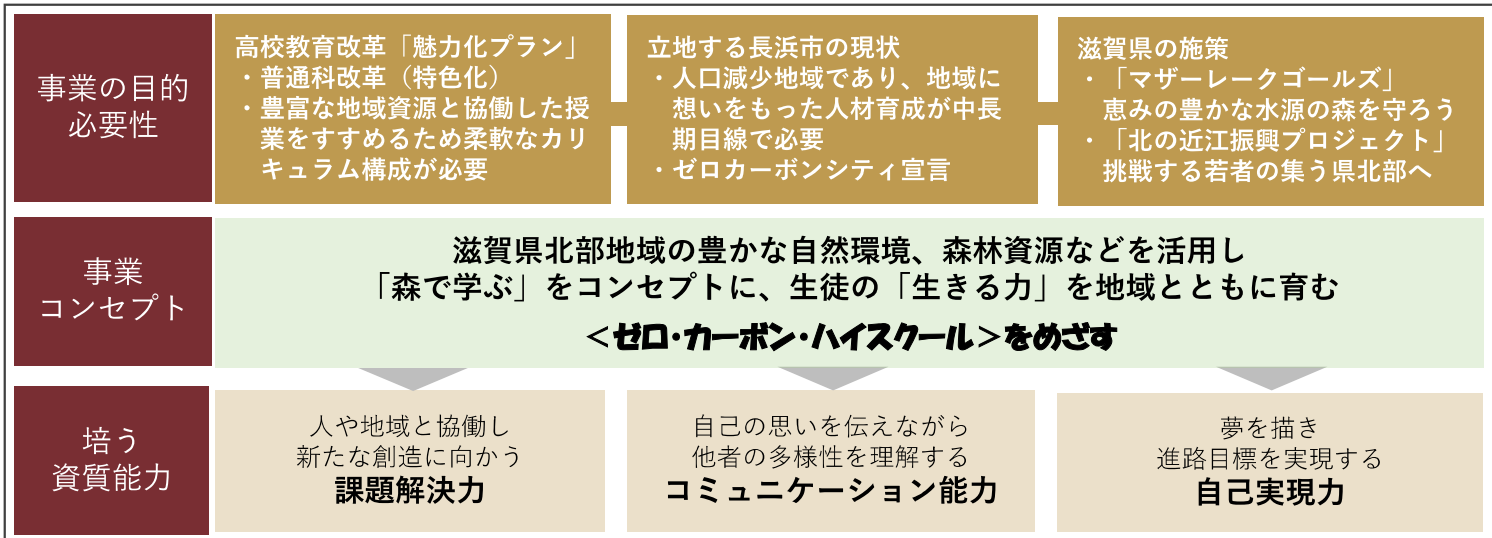
学校設定科目

1年生・1単位
・七宝焼を学ぶ
・七宝焼講座運営
・商工会店舗の取材
・広報活動
・連携大学による出
前授業

教科等 横断的な学び

1年生
・広報活動のための
情報処理力育成
・地域資源の歴史的
な学び
・外国人に向けた情
報発信のための外国
語学習

【滋賀県立伊香高等学校】 森の探究科 （地域社会学科：令和7年度）

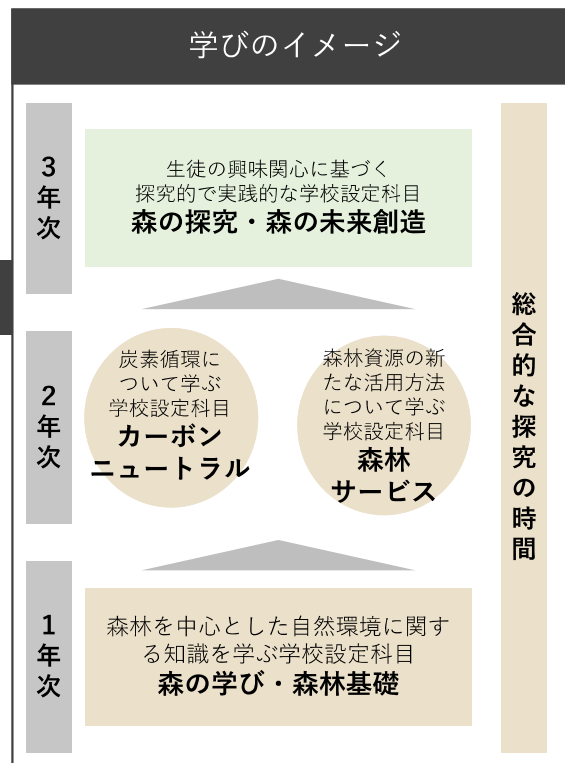


特色・魅力ある教育の概要

●ポイント

持続可能な社会と琵琶湖に根ざした暮らしの創造、人と自然が共存する循環型社会構築に資する人材育成を図る。また、地域の森林資源などを活かしたまちづくりに関わり、地域活性化との相乗効果を目指す。

1. 「森・川・里・湖」が水系でつながる滋賀北部ならではの学び
滋賀県北部は淀川水系の水源地であり、豊かな森林や田園環境、人々の暮らしが根付く地域である。それらの地域資源を通して実体験に基づいた幅広い学びを深める。
2. 地域内外の専門家と協働した循環型社会に関する実践的な学び
長浜地域には森林サービス産業や環境エネルギーに関連する専門家が数多く活動し市外との交流も活発である。そのような専門家と協働し実践知に基づいた教育プログラムを組み立てる。
3. 地元地域や長浜市など地域と連携した学び
高校が所在する木之本や長浜地域は若い移住者も増えており、活発な活動が行われている。そのような活動に高校も参画できるよう情報共有やコーディネート体制を整える。



- ・ 長浜市や県庁関係課などの地域行政機関や地域教育機関、商工関係組織、森林関係組織などと連携をし、コンソーシアムを立ち上げる。
- ・ 全体的な方針の審議を行うハイレベル会議と、個別の活動（例：森の探究活動、地域連携活動、保幼小中連携活動、など）を推進する部会の2階層とし、機動的に活動を推進できる体制とする。
- ・ 新学科カリキュラム等を検討する校内推進チームに加え、県と市が協力し設置するコーディネーターが協働し運営を行う。

学校スローガン（合言葉）
「超えてゆけ」
（今日の自分を超えてゆこう）

【滋賀県立守山北高等学校】（仮称）みらい共創科（地域社会学科:令和7年度）



めざす生徒像
【育成したい力】

多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい地域の未来を創造する人物
【人を想う心（共感力・自尊感情）、起業家精神（主体性・チャレンジ力）】



モリキタスキ

スクール
ミッション

- ①地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する学校
- ②地域と連携したキャリア教育を推進するとともに、多様なニーズに応じた教育課程を展開することで、進路希望を実現するために必要な力を育成する学校

「三方よし」の新たな学び

- ◆「地域 × DX × 探究」 → 「みらい共創」=（自分よし、相手よし、みんなよし）
 - ・DXによる個に応じた学びの深化と地域をフィールドにした本物体験で地域の課題や地域の未来の姿を探究し、地域と学校のみらい共創をめざす。
- ◆「ウェルビーイング (well-being)」の視点 → 「豊かな田園都市守山」のまちづくり
 - ・ウェルビーイングの視点で地域課題を探究することで、学びを通した生徒の成長が多様性を尊重する地域のみらい共創に繋がり、まちづくりに寄与する。

魅力ある学び

1. キャリア形成・主権者教育（総合的な探究の時間）
 - ◆アントレプレナーシップ教育から主権者教育へ
 - ・小中高の連携によるキャリア形成と地元起業家等によるアントレプレナーシップ教育を軸とした主権者教育（地域人材育成）を展開
2. みらい共創（学校設定教科）
 - ◆「地域理解」(1年)⇒「みらい共創」(2年)⇒「キャリア形成」(3年)の学校設定科目
 - ・「地域理解」…地域の自然、歴史、産業等の理解。インターンシップ、エコツーリズム等
 - ・「みらい共創」…地域課題探究、フィールドワーク、企業コラボ学習、DX等
 - 福祉施設、小中学校、NPO等との共創によるインクルーシブな地域社会の探究
 - ・「キャリア形成」…起業プラン・政策提言等の作成、タウンミーティング等
3. DXの推進
 - ◆1人1台端末活用等を発展させた学び・SNS等を活用した情報発信

学びのフィールド

1. 地域をフィールドとした学び
 - ◆琵琶湖に近い立地をフィールドとした学び
 - ・琵琶湖（湖岸）、びわこ地球市民の森、野洲川等の自然環境を活かした体験
 - ・琵琶湖をキーワードに環境問題やウェルビーイングの視点からのまちづくり探究
 - ◆行政、地域、産業界、大学等と連携した学び
 - ・産業の観光化、歴史資源の活用、伝統野菜のブランド化、地域スポーツ等の地域の活性化に繋がる取組等の探究を通じた新たな価値の創造
2. ウェルビーイングの充実
 - ◆DXによる個に応じた学びを地域との共創へ
 - ・学び直しや発展的な学習をしたい生徒等個に応じた学びを提供
 - ・DXによる学びと本物体験の学びによる対話的・協働的で深い学び実現
 - ◆オンラインの活用
 - ・オンライン活用により、芸術やスポーツの専門性のある教員や生徒が地域の中学校等とともに活動したり地域や大学等の専門家による指導を受ける。
 - ・生徒や地域住民で創り上げるスポーツ・文化活動への発展

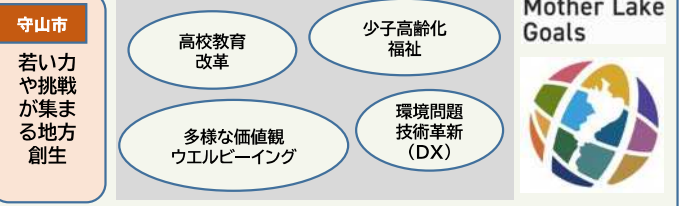
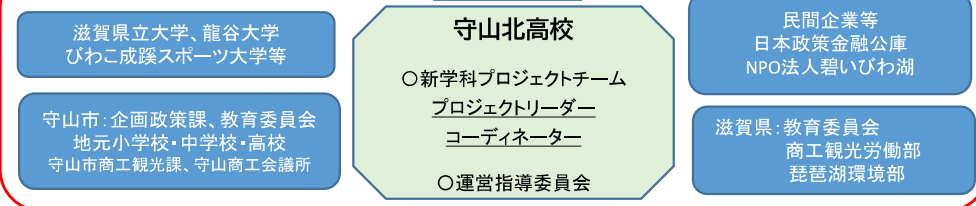
指導助言
成果提案

地域連携重点魅力化連絡会議

県教育委員会

滋賀の県立高等学校魅力化プラン

魅力化推進コンソーシアム



【兵庫県立篠山鳳鳴高等学校】 その他普通科「STEAM探究科」（令和6年度設置）

PHOENIX STEAM

未来を切り拓く鳳鳴力

●スクールミッション

建学の理念のもと、科学的知見に基づく論理的思考と、他者と協働して新たな社会を創造する感性を備え、自己実現の達成を目指して学び続け、自立して地域社会の発展と国際社会に貢献できる人材を育成する。

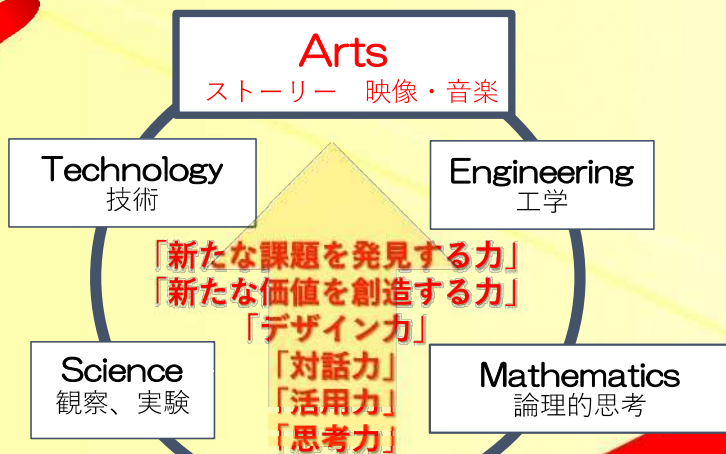
卒業時

- ・情報機器と言語能力の活用力
- ・グローバルな視野で多様性を理解
- ・批判的思考と科学的な視点
- ・主体的に行動し学び続ける姿勢
- ・チームで協働する大切さ

STEAM探究科（単位制）

歴史と文化の町「丹波篠山」を舞台に
鳳鳴高校生が紡ぐ探究のストーリー

<PHOENIX STEAM>



入学時

- ・国際社会で活躍したい
- ・多様な視点で社会に貢献したい
- ・ワクワクした学びがしたい
- ・チャレンジすることを楽しみたい

課題探究に特化した授業

「身近な課題の発見」→「先端技術で探究を深化」→「新たな価値の創出」

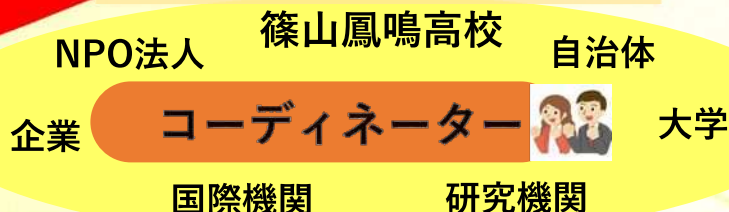
- 【3年】 STEAM探究Ⅲ
 - ・探究のプロセスをストーリーで表現
 - ・探究成果発表
- 【2年】 STEAM探究Ⅱ デジタルメディア
 - ・探究活動実践
 - ・プレゼンテーション
 - ・統計学基礎
 - ・動画作成
- 【1年】 STEAM探究Ⅰ 鳳鳴探究基礎
 - ・課題設定
 - ・企業等と連携
 - ・探究の手法
 - ・ICT機器操作



STEAM特講

- ・先端機器の活用（3Dプリンタ、360°カメラ、ドローン、VRカメラ等）
- ・STEAM講演会・企業、研究施設訪問

STEAM教育コンソーシアム



特色ある授業展開

- ・教科横断型学習
- ・少人数制、習熟度クラスの充実
- ・公開授業

現代の諸課題に関連した課題設定、課題解決

【兵庫県立姫路飾西高等学校】 その他普通科（令和6年度）

未来社会における新たなシステムや価値を創造する人材を育成するSTEAM探究科の創設

グローバル・コミュニケーション・コース（国際文化系）

サイエンス・サーベイ・コース（自然科学系）

2つのコース
の学びを融合

STEAM探究科

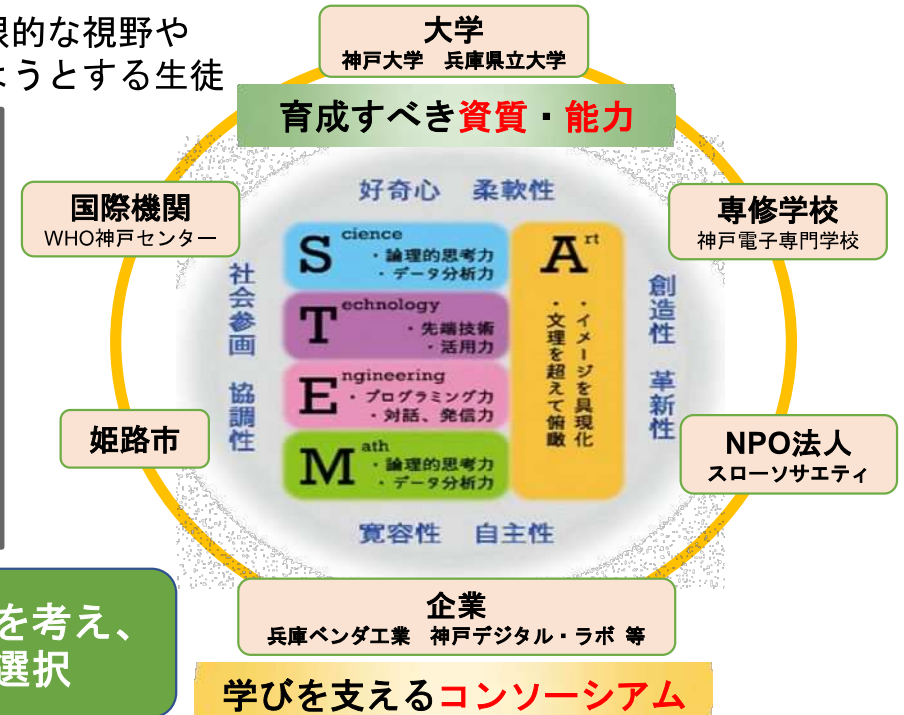
文理の枠を超えた学びを通して、俯瞰的視野、課題解決力、論理的思考力、主体性、創造性等を育成

STEAM探究科が目指す生徒像

実社会やこれからの時代に想定される課題を見出し、文理の枠を超えた複眼的な視野や柔軟な発想で、他者と協働して課題解決や新たなシステム、価値を創造しようとする生徒

学科の特色

- Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術/教養)、Math(数学)を融合した多角的なアプローチによる探究活動
- 社会課題の解決に先進的に取り組む企業や大学、自治体等との連携による外部人材を活用した課題研究の展開、フィールドワークの重視
- ドローンやVR等の先端技術に触れ、AIと共生する未来社会を創造
- 海外との共同研究、プレゼンテーション、ディスカッション等を通じた実践的英語運用能力の育成



学びを自分でデザインしながら、「自分ごと」を発見

将来の生き方や社会への関わり方を考え、やりたいことをアピールして進路選択

	1年（探究活動の基礎）	2年（探究活動の実践）	3年（振り返りと今後の展望）
総合的な探究の時間	<p>STEAM探究基礎 SDGs等の社会課題の理解、研究手法の習得、ドローン・VR等の活用、ミニ探究</p>	<p>STEAM探究 I 外部連携による年間を通じた課題研究、フィールドワーク、研究成果のまとめ</p>	<p>STEAM探究 II 個人での研究の発展、成果発表・提言、学びの振り返りと将来の学びの設計</p>
学校設定教科・科目	<p>English with STEAM I 英語による国際課題の理解、日本との比較研究、プレゼンテーション技術の習得</p>	<p>English with STEAM II 海外との共同研究、ディスカッション、ディベート等を通じた論理的考察</p>	<p>Global Issues(選択) 地球課題の発展的研究</p> <p>アントレプレナーシップ(選択) 新たな価値創造のための思考と行動</p>





【広島市立美鈴が丘高等学校】地域社会に係る学科を設置（令和7年度予定）

学校教育目標

校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。

広島市が有する課題や魅力に着目した実践的な学びに取り組む「探究的な活動」を特色（学びの柱）とする



「未来へ とともに つながる」学びの創造
新時代に対応した「進取 友愛 節度」へ

新しい学科で育成を目指す資質・能力（検討中）

「国際平和文化都市『広島』をフィールドとした学びにより
地域社会の発展に貢献し続ける人物を育成する」

- 地域や社会の課題を見出す力
- 正解のない課題に向き合い続ける力
- 協同して課題を解決する力

総合的な探究の時間

週1日は探究に特化した日をつくり、午後から学年の枠を超えたフィールドワークや課題解決学習に集中できるよう設定

探究活動を重視した各教科・科目の授業改善

「育成を目指す資質・能力」に基づく目標と評価規準を設定
生徒の「問い」から始まり、「社会につながる課題」を個人思考と協同学習で学ぶ授業へと改善

外部との連携調整を行う
コーディネーター



新たな学校設定教科・科目

新たな学校設定教科・科目として、学びの柱である探究の「学び方を学ぶ」プログラムを実施

教員と生徒による
〔改編検討組織〕
未来会議

大学・地域・行政
〔連携協力体制〕
コンソーシアム

特色・魅力ある先進的な学校運営

担任チューター制や複数担任制等の柔軟な学級運営の導入、ノーチャイム、文理選択の廃止、修学旅行の充実等

【鹿児島県立種子島中央高等学校】 その他普通科の別（設置（令和6年度））

～新学科設置の背景と必要性～

【デジタル社会の到来】

Society5.0 の到来により、世界中で**デジタル技術**を活用できる人材を求める動きがある。

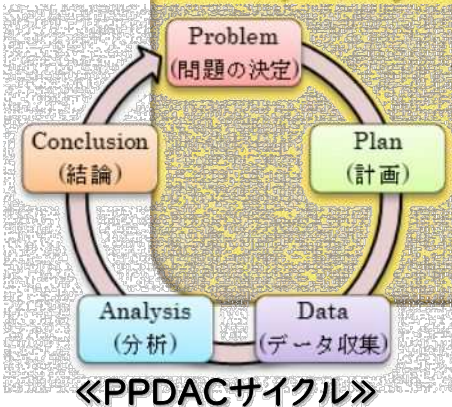
【離島における教育の充実化】

離島の地理的環境により、他の高校生と比べて**学びの機会**が限られる現状にある。

～目指す人材像～

デジタル技術を活用し、社会生活を変革できる資質・能力を身に付け、次世代（デジタル社会）を**創造する**人材

“デジタル人材”に求められる資質・能力の育成へ



- ・ 「デザイン思考」とは、地域や社会における課題を自ら発見し、解決までの過程を筋道立てて構築することができる力
- ・ 「デジタル技術」とは、課題解決のための有効的な手段として、目的に応じてデジタル技術を適切に選択・活用できる力

「デザイン思考」の具体

課題発見力
課題解決力
コミュニケーション力
創造的思考力 など

「デジタル技術」の具体

データ分析
ICT機器の活用
メタバース
情報発信スキル など

～特色・魅力ある教育活動～

- ・ 学校設定科目（DX（仮名称））の実施
- ・ 外部講師による実践的な課題解決型学習
- ・ デジタル技術を積極的に活用した授業の実施
- ・ 広がる視野・深まる思考を目指した教科横断型的授業の実施

